

目 次

1. 小金井市を取り巻く現況	1
1-1. 人口・世帯数	1
1-2. 産業	2
1-3. 商業	3
1-4. 都市計画	3
1-5. 土地利用	4
1-6. 道路・交通	4
1-7. 水・緑・環境共生	5
1-8. 安全・安心	5
1-9. 生活環境	6
2. 「小金井市都市計画マスタープラン」見直しのためのアンケート 調査結果	7
3. 市民協議会の開催結果	12

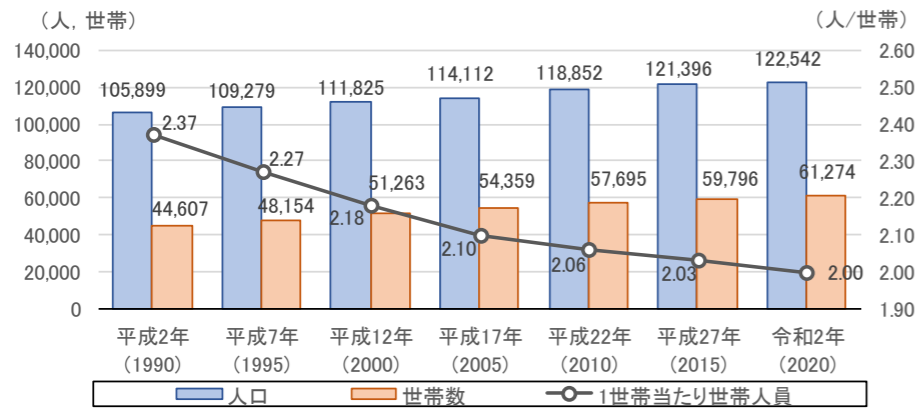
1. 小金井市を取り巻く現況

1-1. 人口

■人口・世帯・1世帯あたり人数の推移

- 人口は、令和2年は 122,542 人で、平成2年以降増加し続けている。また、世帯数も一貫して増加傾向にあり、令和2年は 61,274 世帯である。
- 1世帯あたり人員は年々減少し、令和2年は 2.00 人/世帯となっている。

＜人口・世帯・1世帯あたり人数の推移＞

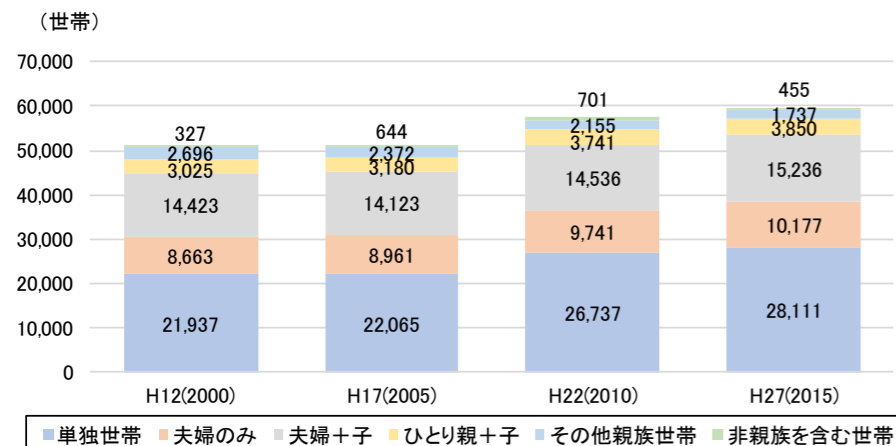


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成2年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

■世帯の型別世帯数の推移

- 単独世帯が大きく増加している。
- ファミリー世帯である夫婦+子世帯は、全体の世帯増加に比べて増加数が少ない。

＜世帯の型別世帯数の推移＞

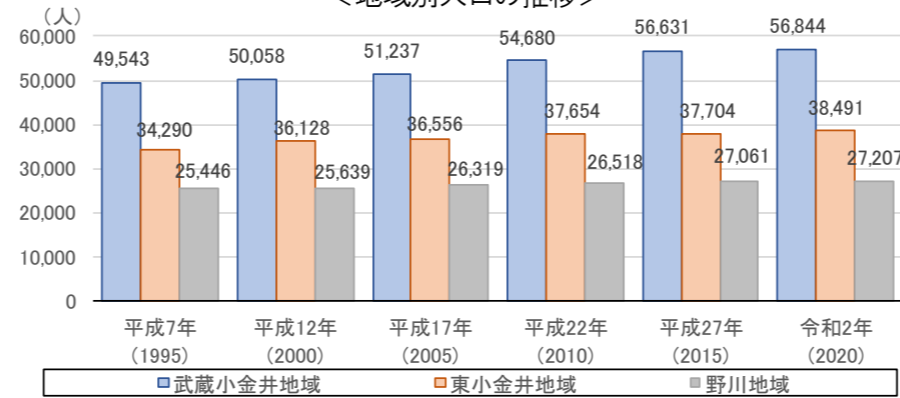


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成12年～平成27年 10月1日現在）

■地域別の人口・世帯の推移

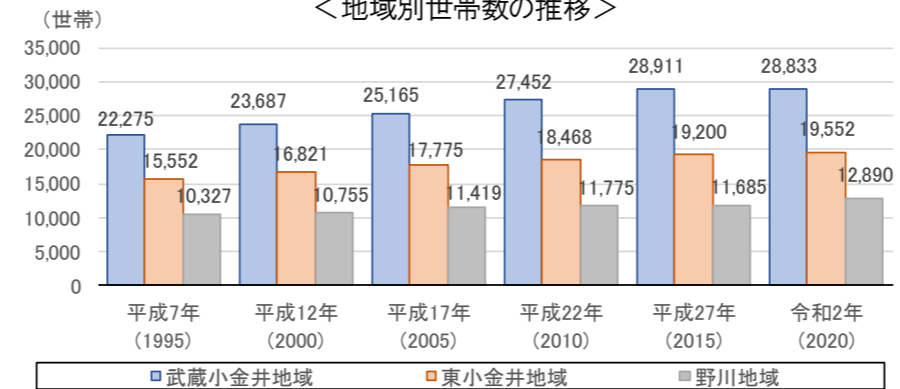
- 人口は3地域ともに増加傾向で、特に武蔵小金井地域は大きく増加している。
- 世帯数は、3地域ともに増加傾向であったが、令和2年は、武蔵小金井地域のみ微減に転じている。

＜地域別人口の推移＞



※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成7年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

＜地域別世帯数の推移＞

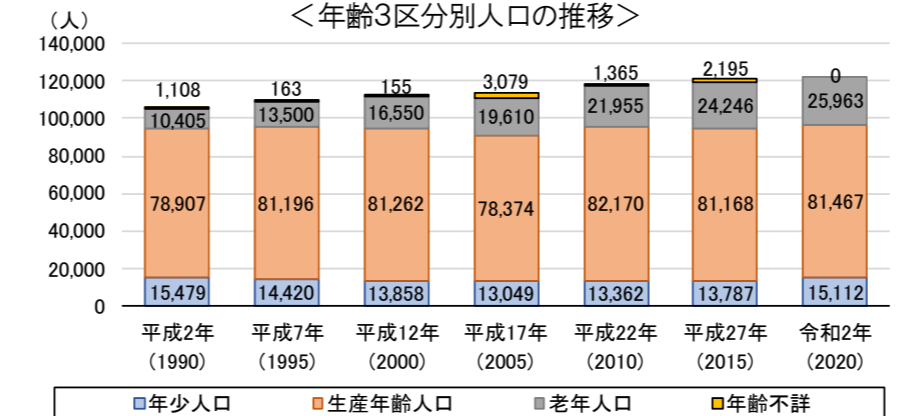


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成7年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

■年齢3区分別人口の推移

- 年少人口は、減少傾向にあったが、平成17年以降増加に転じている。
- 生産年齢人口は、平成2年以降、微増・微減を繰り返している。
- 老年人口は、一貫して増加傾向にある。

＜年齢3区分別人口の推移＞

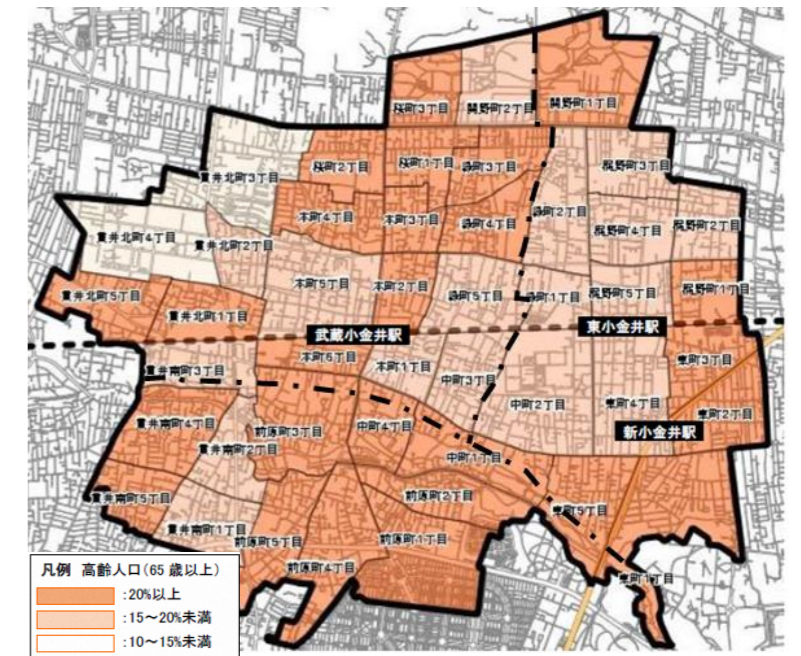


※出典：総務省統計局「各年 国勢調査結果」（平成2年～平成27年 10月1日現在）及び小金井市HP「世帯と人口（令和2年度）」（令和2年4月1日現在）

■町丁目別老年人口・年少人口比率

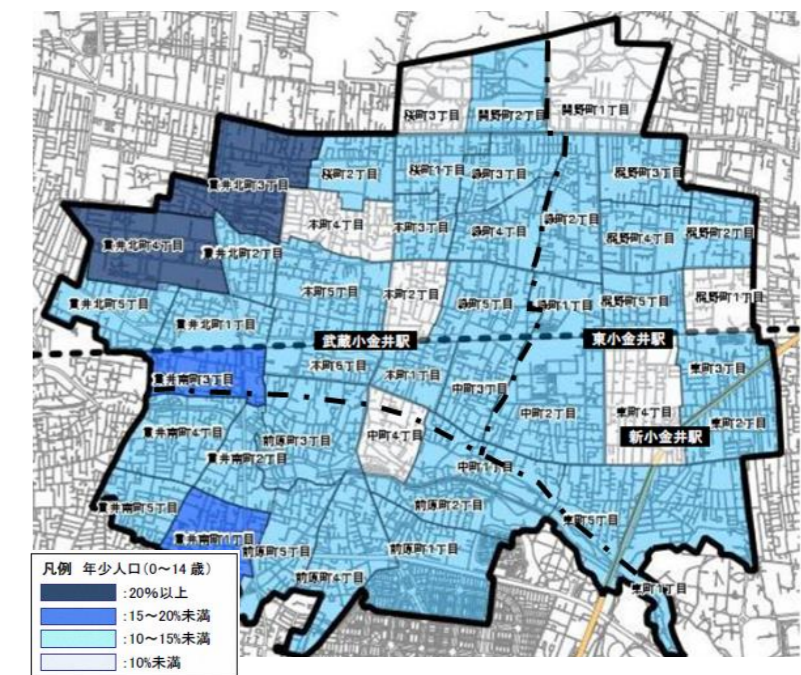
- 老年人口比率は、武蔵小金井地域の北部や野川地域で 20%以上であるが、東小金井駅周辺は、駅東側を除くほとんどが 20%未満である。
- 年少人口比率は、武蔵小金井地域の北西部で 20%以上の町丁目があるが、東小金井地域や野川地域は概ね 10~15%未満となっている。

＜町丁目別老年人口比率(平成30年1月1日現在)＞



※引用：こがねいデータブック 2018

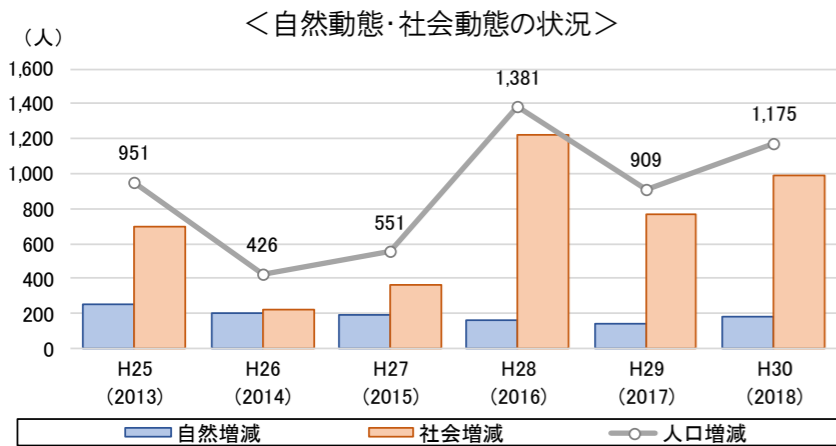
＜町丁目別年少人口比率(平成30年1月1日現在)＞



※引用：こがねいデータブック 2018

■自然動態・社会動態の状況

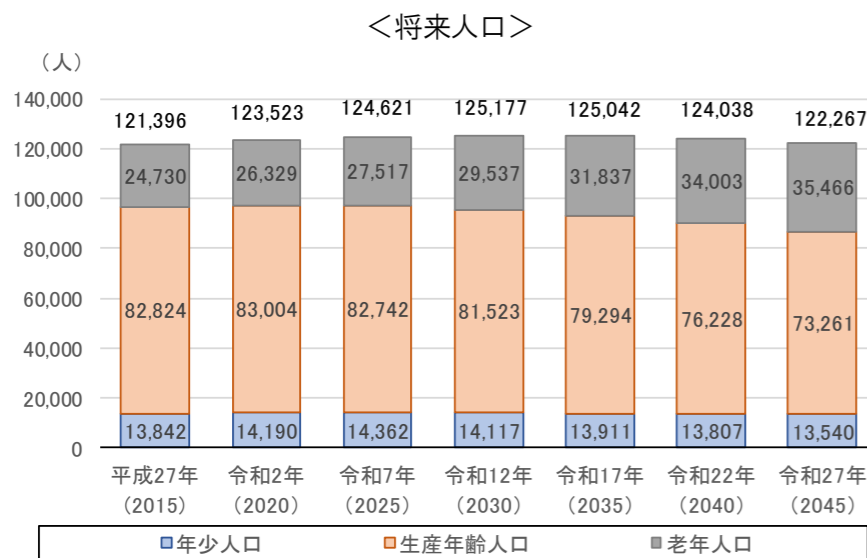
- 自然動態は、年間 140 人～250 人前後の自然増で推移している。
- 社会動態は、平成 28 年に約 1,200 人、平成30年に約 1,000 人の転入超過となっている。



※出典：総務省統計局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

■将来人口推計

- 2030 年をピークとして減少に転じ、2045 年は 122,267 人と推計されている。
- 年少人口は、2025 年をピークとして減少に転じると予測されている。
- 生産年齢人口は、2020 年をピークとして減少に転じ、2045 年には 2020 年比で約 1 万人減少すると予測されている。
- 老年人口は、2015 年から 2045 年にかけて約 1 万人増加するものと予測されている。

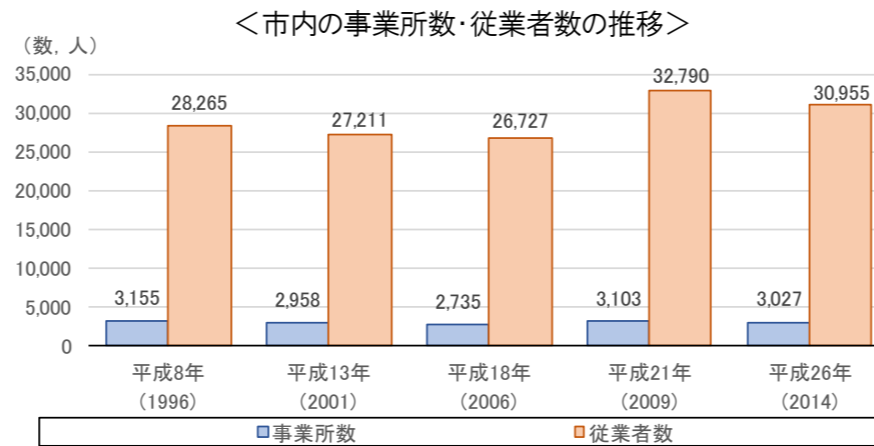


※出典：国立社会保障・人口問題研究所（平成 27 年は国勢調査による実績値）

1-2. 産業

■市内の事業所数・従業者数の推移

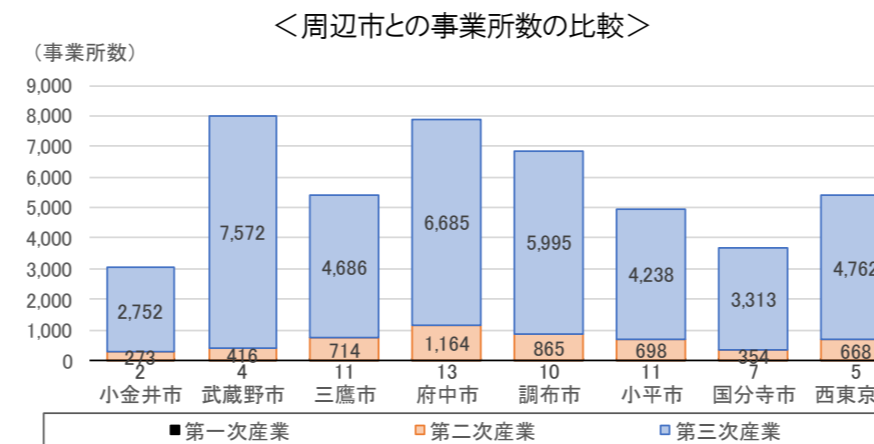
- 事業所数は、平成 18 年まで減少した後、平成 21 年で増加に転じたが、その後減少し、平成 26 年は 3,027 事業所となっている。
- 従業者数も事業所数と同様の傾向にあり、平成 26 年は 30,955 人である。



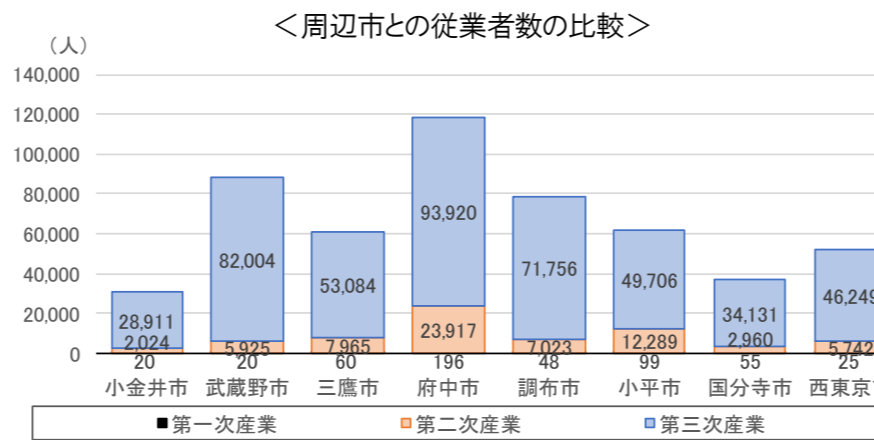
※出典：総務省統計局「事業所統計調査」（平成 8 年、13 年、18 年）
：経済産業省「経済センサス（基礎調査）」（平成 21 年、26 年）

■周辺市との事業所数・従業者数の比較

- 周辺市と比較すると、事業所数・従業者数ともに少ない。



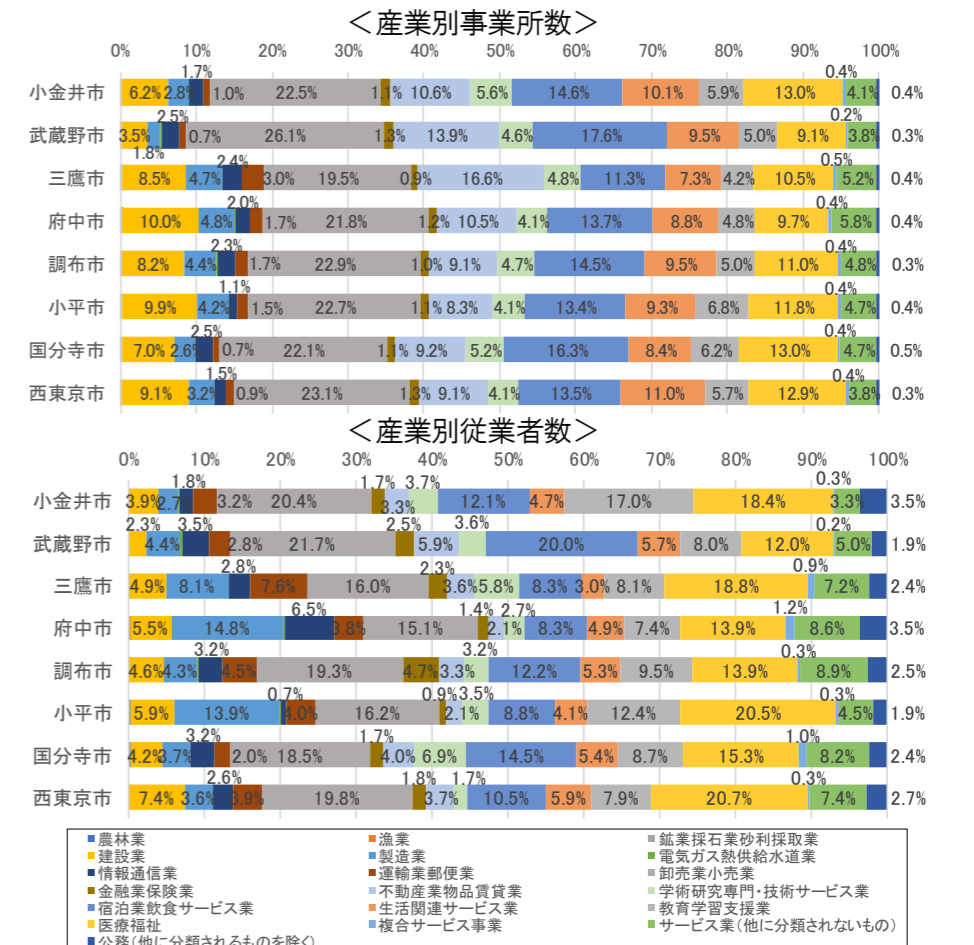
※出典：経済産業省「平成 26 年経済センサス（基礎調査）」



※出典：経済産業省「平成 26 年経済センサス（基礎調査）」

■産業別事業所数・従業者数の比較

- 小金井市は、「卸売業小売業」の事業所数・従業者数が最も多く、武蔵野市、府中市、調布市、国分寺市も同様の傾向にある。



■通勤・通学流動の状況

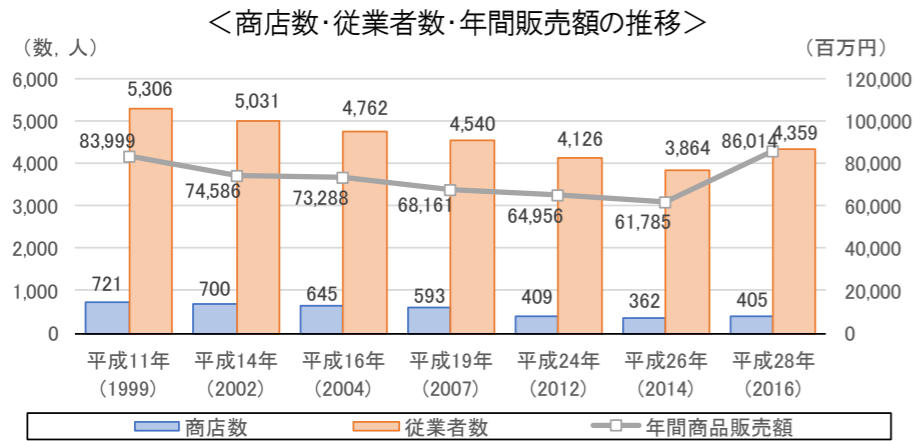
- 通勤は、流出が 39,117 人、流入が 16,603 人で 22,514 人の流出超過である一方、通学は、流出が 5,666 人、流入が 9,623 人で 3,957 人の流入超過となっている。



1-3. 商業

■商店数・従業者数・年間販売額の推移

- 商店数、従業者数、年間販売額のいずれも、平成11年以降減少傾向であったが、平成28年は増加に転じている。

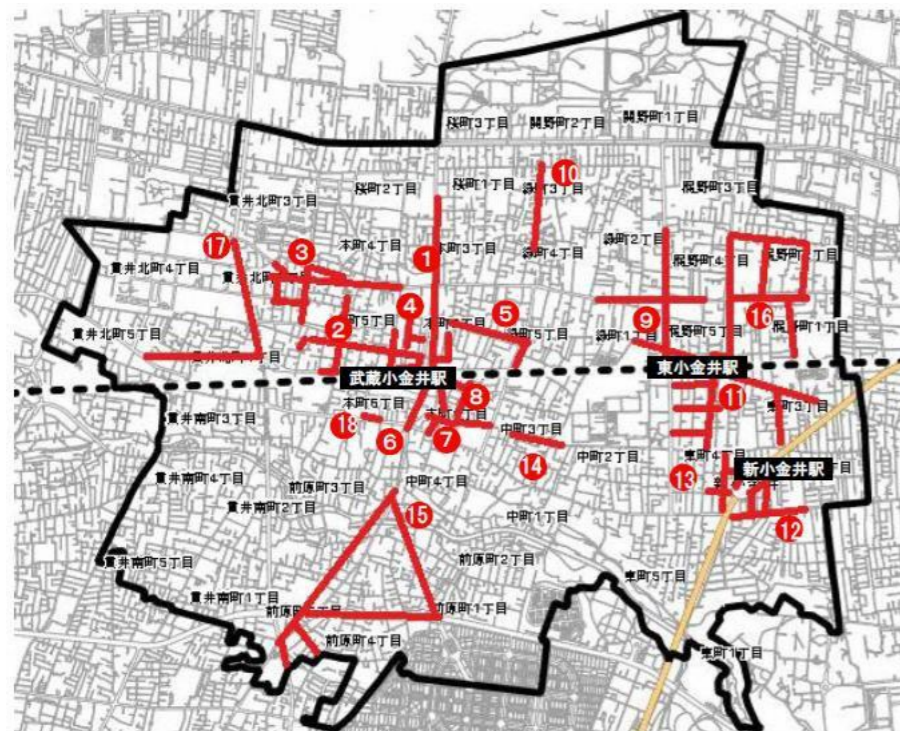


※出典：総務省統計局「事業所統計調査」(平成8年、13年、18年)
 : 経済産業省「経済センサス(基礎調査)」(平成21年、26年)
 : 経済産業省「経済センサス(活動調査)」(平成24年、28年)

■商店会の状況

- 市内各駅を中心として18の商店会があるが、商店数は減少傾向にある。

＜商店会の状況＞



※引用：こがねいデータブック 2018

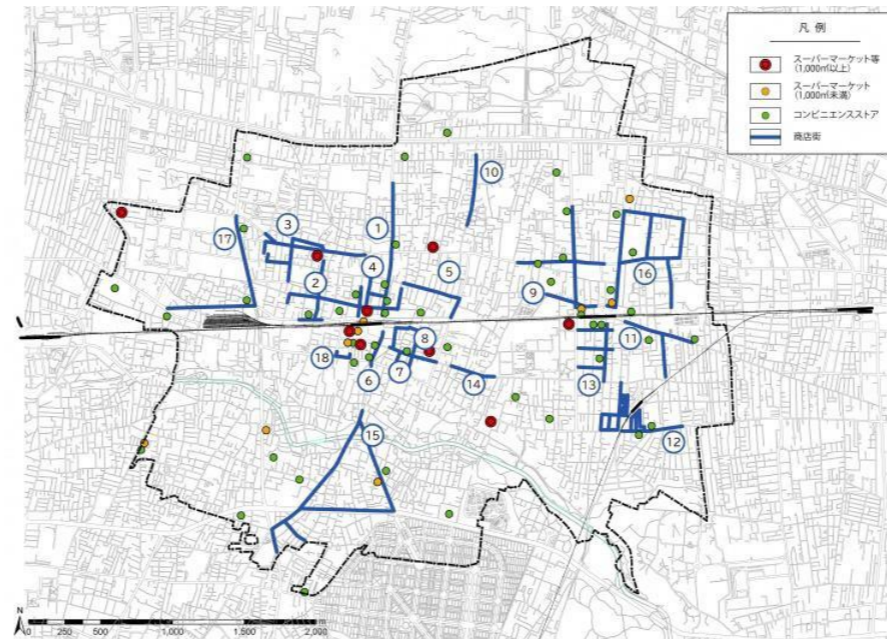
(件)	平成25年8月	平成30年8月	増減数
商店数合計	859	780	-79

※出典：こがねいデータブック 2018

■スーパー・コンビニ等商業施設の立地状況

- 店舗面積 1,000 m²以上のスーパー等の大規模小売店舗は9店舗立地している(令和2年7月現在)。
- コンビニエンスストアは47店舗立地している(令和2年7月現在)。

＜商業施設の状況＞



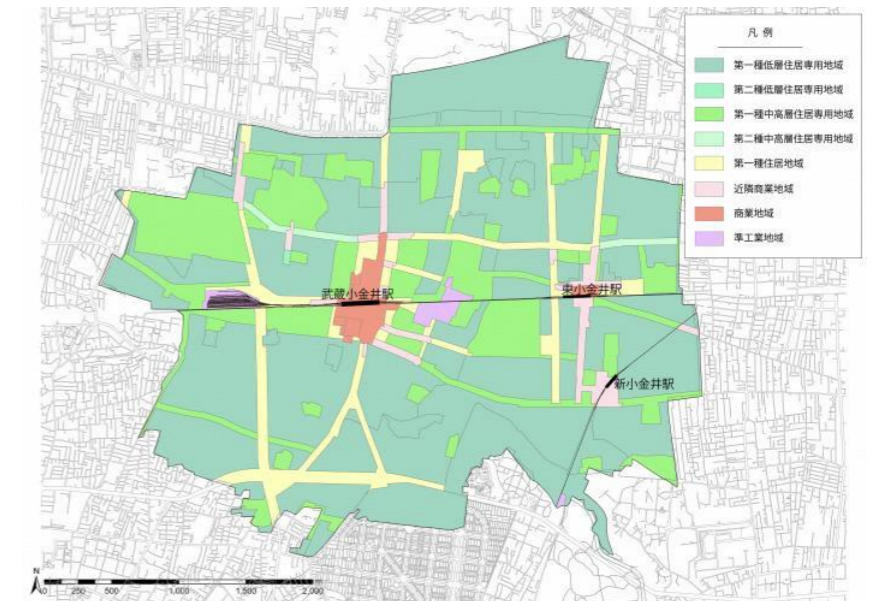
※出典：小金井市商業・商店街振興基礎調査報告書(1,000 m²以上の大規模小売店舗)
 : iタウンページ(1,000 m²未満の商業施設)及びコンビニ各社HP

1-4. 都市計画

■都市計画決定の状況

- 本市は全域が市街化区域である。
- 駅周辺や幹線道路沿いに商業地域や近隣商業地域が指定されているが、市域全体の約4%であり、市域の多くは住居系の用途地域が指定されている。このうち、第一種低層住居専用地域は市域全体の約65%で最も多く指定されている。

＜都市計画決定の状況＞

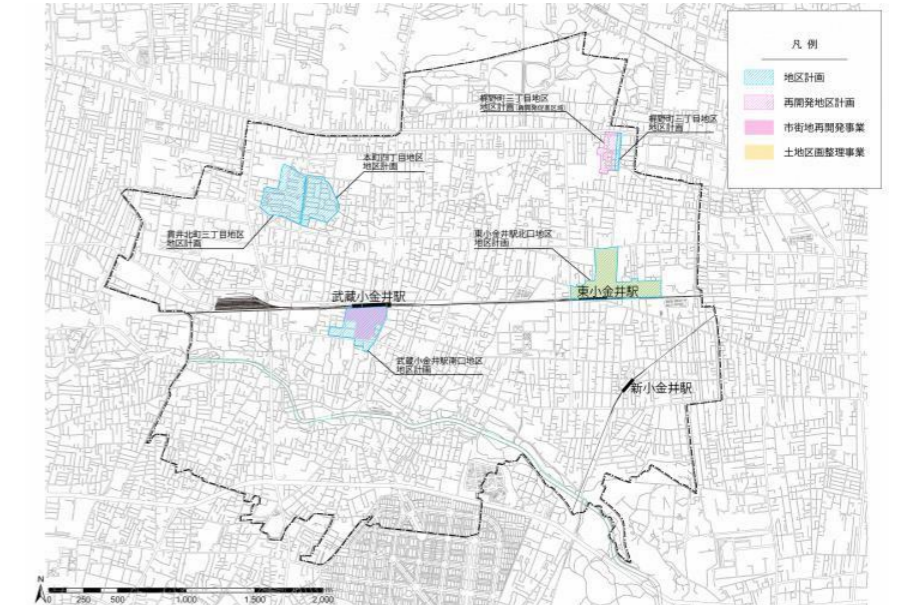


※出典：東京都都市計画地理情報システム(平成29年10月版)

■地区計画、市街地再開発事業・土地区画整理事業

- 地区計画は6地区指定されている。
- 武蔵小金井駅南口地区市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業が進められている。

＜地区計画、市街地再開発事業・土地区画整理事業＞



※出典：東京都都市計画地理情報システム(平成29年10月版)
 : 小金井市ホームページ

■都市計画公園

- 小金井公園や武蔵野公園をはじめとする都市計画公園が市内に広く点在している。

＜都市計画公園＞

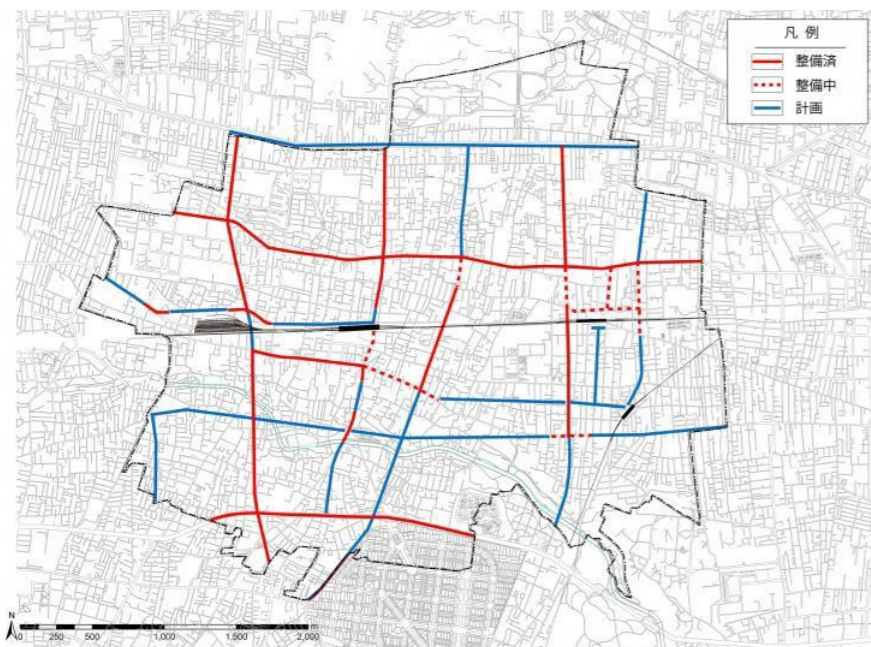


※出典：東京都都市計画地理情報システム（平成29年10月版）

■都市計画道路

- 都市計画道路の整備状況は令和元年度末時点で47.7%となっている。

＜都市計画道路＞



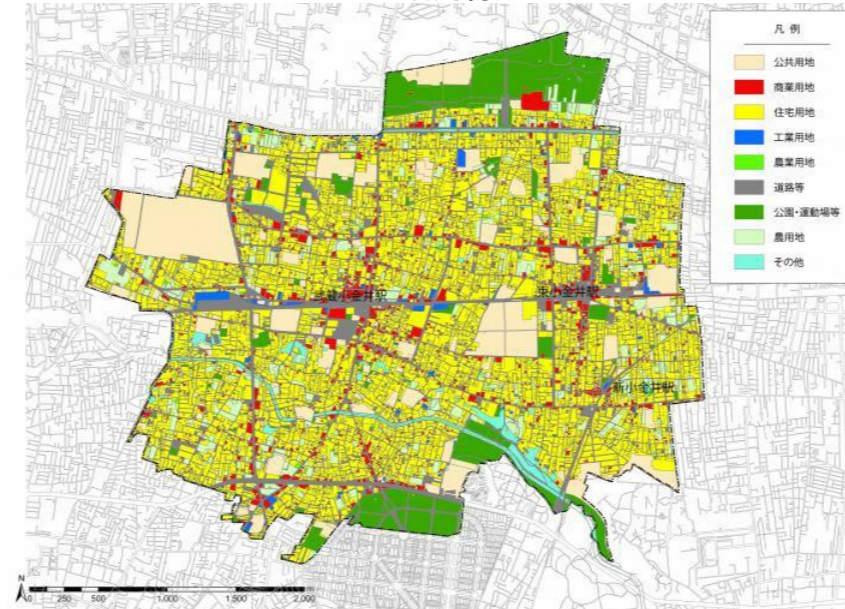
※出典：小金井市

1-5. 土地利用

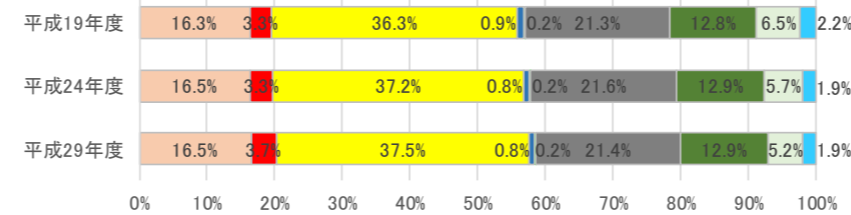
■土地利用現況

- 駅周辺や幹線道路沿いに商業用地、市域全体に公共用地や公園・運動場等が広く分布し、その周辺のほとんどが住宅用地となっている。
- 用途区別の土地利用は経年比較すると大きな変化はないものの、平成29年は平成19年比で、商業用地、住宅用地、公園・運動場等の割合が増している。

＜土地利用現況＞



＜用途区別の土地利用の推移＞

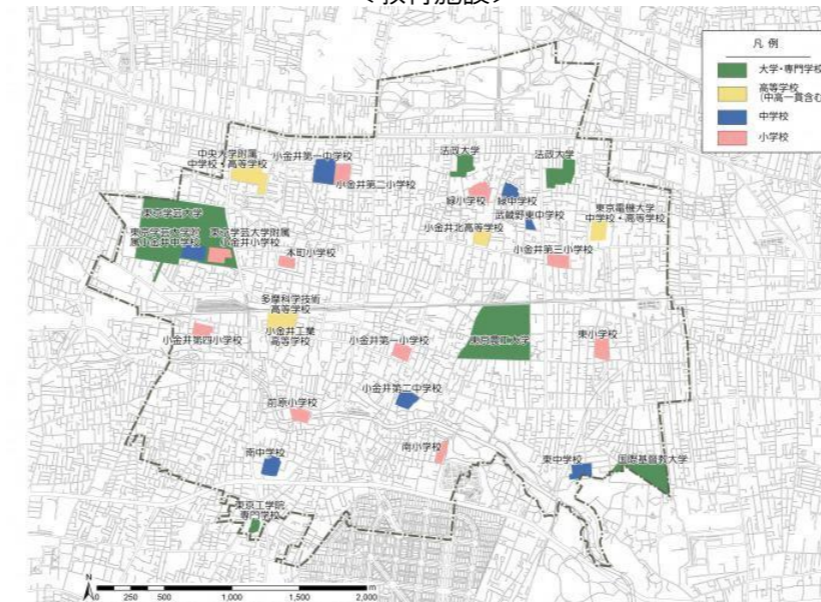


※出典：土地利用現況調査（平成19年、24年、29年）

■都市計画公園

- 東京学芸大学、東京農工大学、法政大学をはじめとする教育施設が市内に多く立地している。

＜教育施設＞



1-6. 道路・交通

■鉄道利用状況

- 武蔵小金井駅の1日あたり平均乗車人員は、一貫して増加傾向にある。
- 東小金井駅や新小金井駅では、平成23年以降増加傾向にある。

＜1日あたり平均乗車人員＞

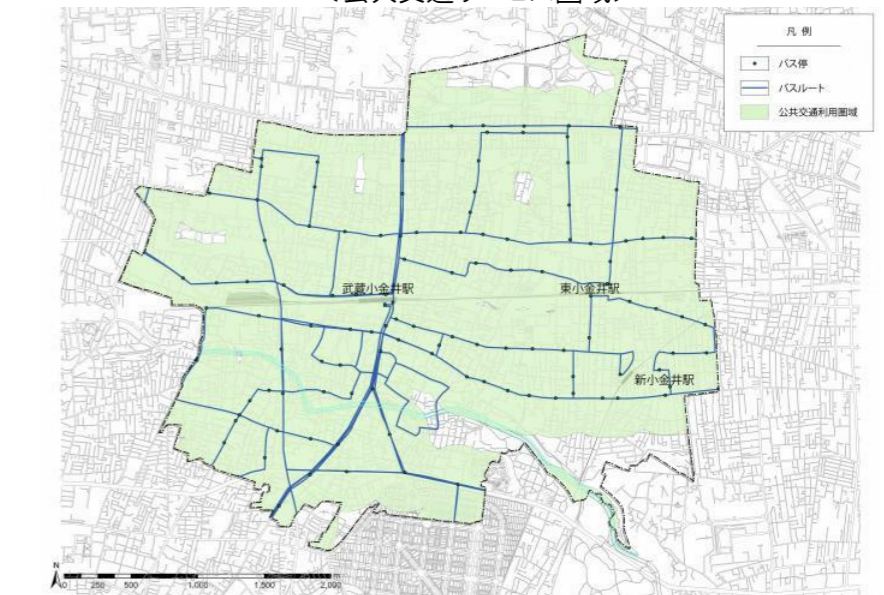


※出典：こがねいデータブック2018

■公共交通サービス圏域

- 市内のバス路線網は広く分布し、市域の多くをカバーしているが、野川地域や東小金井地域の一部(市内南東部)等でカバーできていないエリアが存在する。

＜公共交通サービス圏域＞

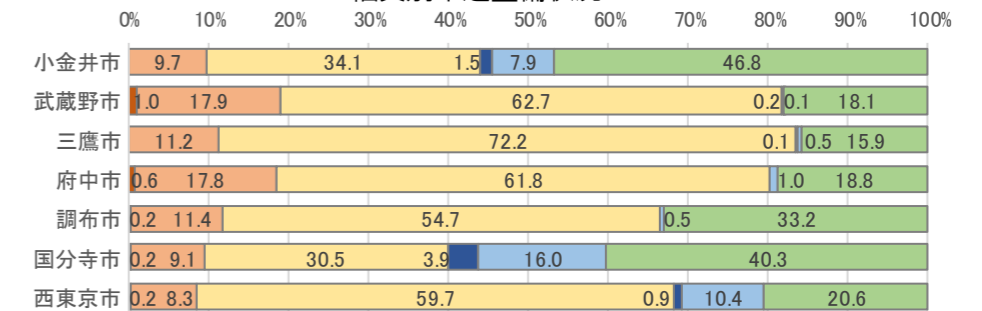


※出典：国土交通省「国土数値情報」を基に作成

■幅員別市道整備状況

- 平成31年4月1日現在の市道の整備状況は、小金井市は未改良でかつ3.5m未満の道路の割合が、周辺市と比べて最も高くなっている。

＜幅員別市道整備状況＞



■規格改良済13m以上 ■規格改良済5.5m以上13m未満 ■規格改良済5.5m未満
■未改良5.5m以上 ■未改良3.5m以上5.5m未満 ■未改良3.5m未満

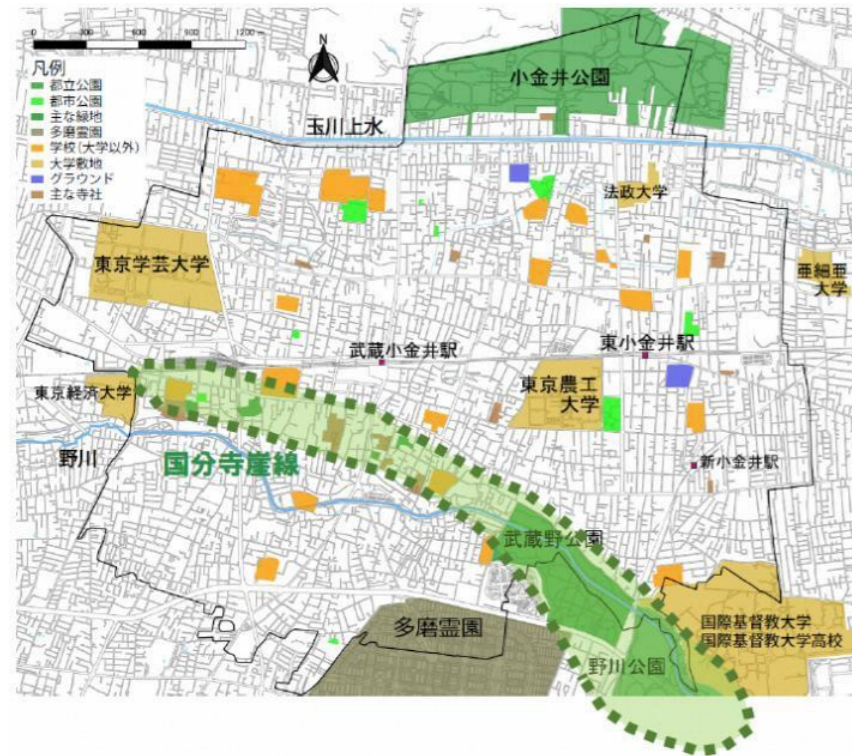
※出典：東京都道路現況調査（令和元年度）

1-7. 水・緑・環境共生

■市内の主要なみどりの分布

- 主要なみどりとして公園及び緑地のほか、河川、学校がある。北部に小金井公園及び玉川上水、南部に国分寺崖線(はげ)、武蔵野公園、野川公園及び多磨霊園があり、その間にその他の公園及び学校などが広がっている。

＜市内の主要なみどりの分布＞

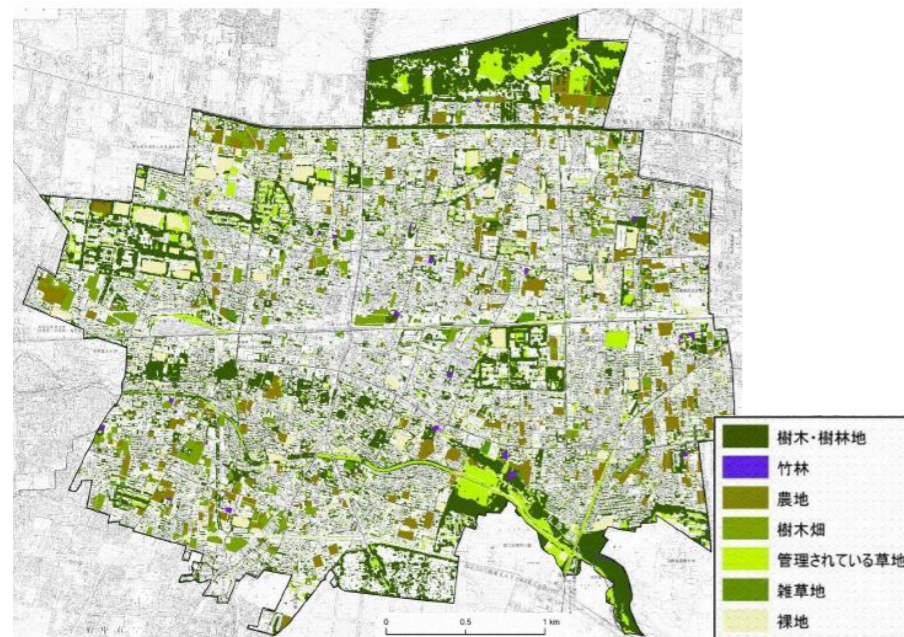


※引用：小金井市公園等整備基本方針（平成31年3月）

■緑被分布状況

- 小金井公園や国分寺崖線、武蔵野公園、野川公園等をはじめとして、市域全体にみどりが広く分布している。

＜緑被分布＞

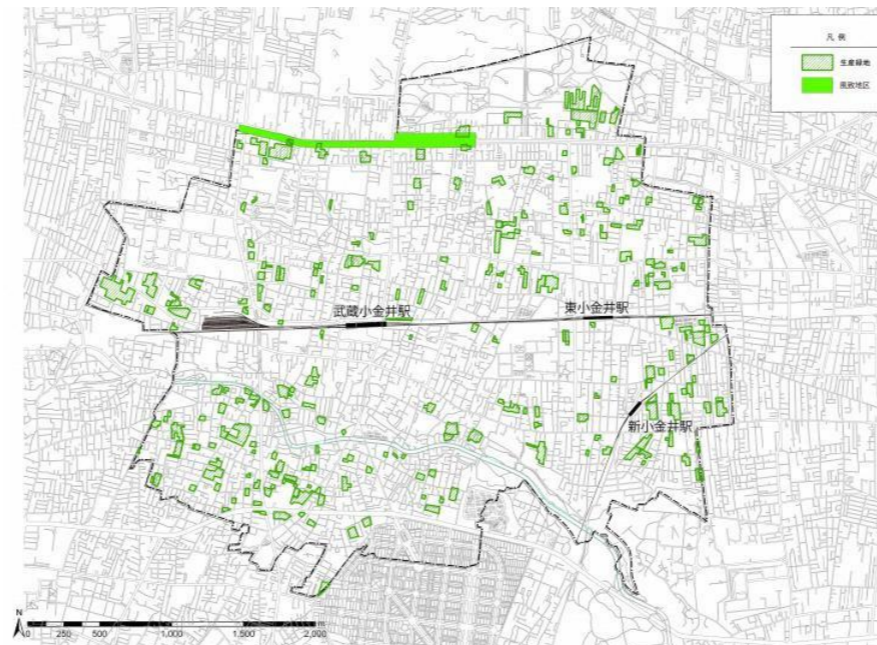


※引用：小金井市緑の基本計画（平成23年3月）

■生産緑地地区・風致地区

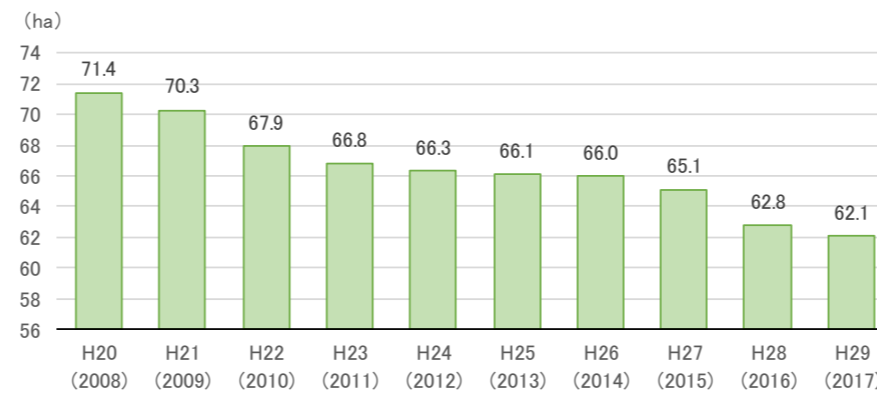
- 生産緑地は市内に広く指定されており、風致地区は玉川上水沿いの一部に指定されている。
- 生産緑地の指定面積は年々減少しており、平成20年から平成29年にかけて、約9.3ha減少している。

＜生産緑地・風致地区指定状況＞



※出典：東京都都市計画地理情報システム（平成29年10月版）

＜生産緑地面積の推移＞



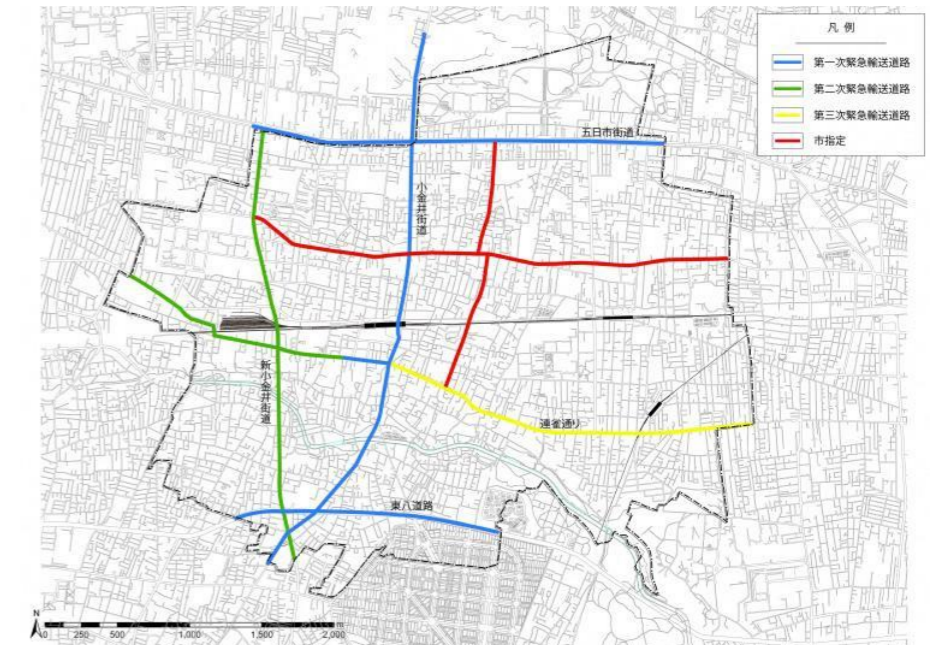
※出典：こがねいデータブック 2018

1-8. 安全・安心

■緊急輸送道路

- 地震発生時に閉塞を防ぐべき道路として、市内幹線道路の一部が緊急輸送道路に指定されている。

＜緊急輸送道路＞

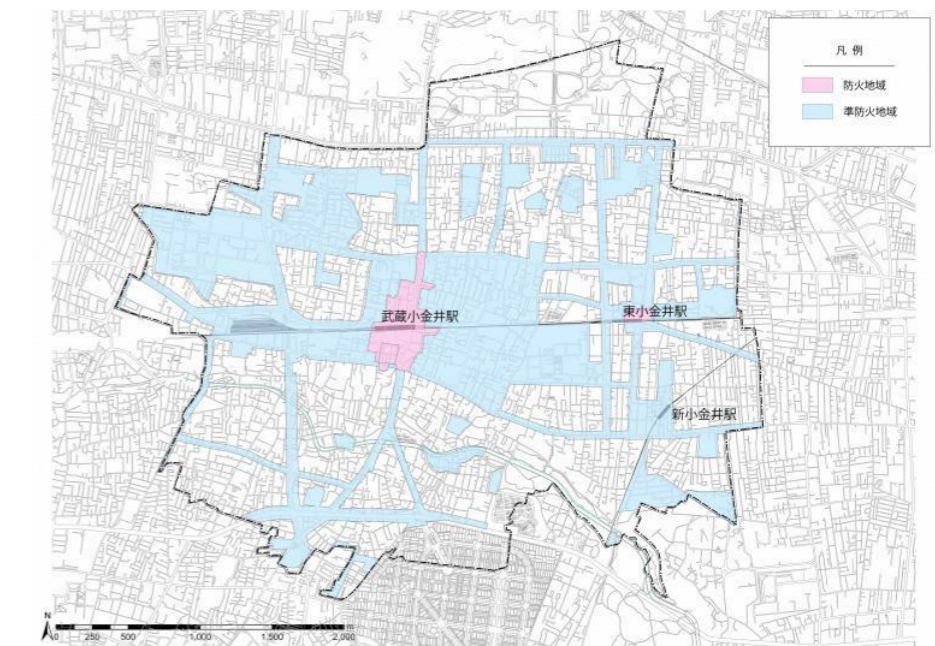


※出典：小金井市地域防災計画（平成27年2月（令和2年1月一部修正））

■防火地域・準防火地域

- 武蔵小金井駅や東小金井駅を中心に防火地域が指定され、その周辺や幹線道路沿いを主に準防火地域が指定されている。

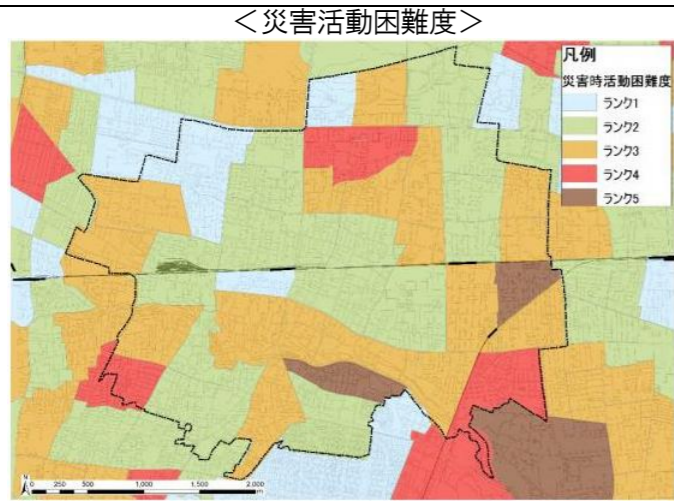
＜防火地域・準防火地域指定状況＞



※出典：東京都都市計画地理情報システム（平成29年10月版）

■地域危険度(災害時活動困難度)

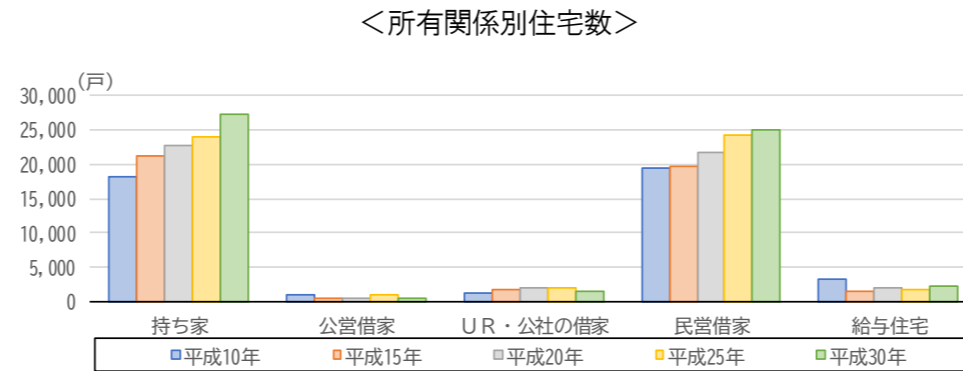
- 災害時における活動の困難度の高い地域が、前原町2丁目、東町3丁目、貫井南町5丁目、東町1丁目、緑町3丁目、桜町1丁目に広がっている。



※出典：東京都「地震に関する地域危険度測定調査(第8回)」(平成30年3月)

■所有関係別住宅数

- 持ち家と民間借家のいずれも、増加し続けているが、特に持ち家が近年大きく増加し、平成30年は、民間借家より持ち家の方が多くなっている。
- 周辺市と比較すると、民間借家の割合が武蔵野市に次いで高くなっている。

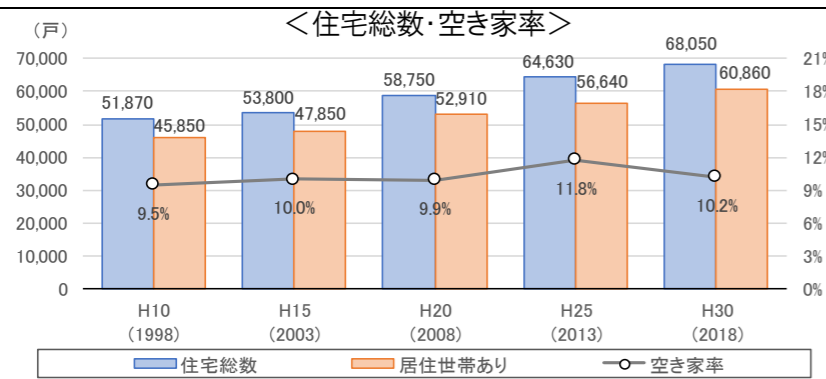


※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

1-9. 生活環境

■住宅総数・空き家率の推移

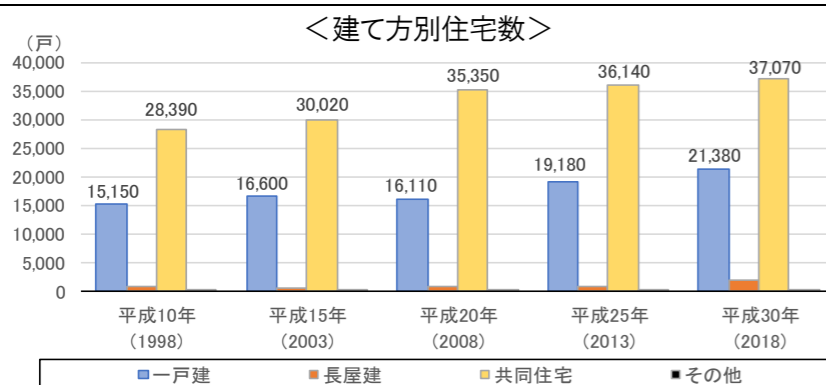
- 住宅総数は増加傾向にあり、平成20年から平成30年にかけて約1万戸増加している。
- 空き家率は平成10年以降増減を繰り返し、平成30年で10.2%となっている。



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

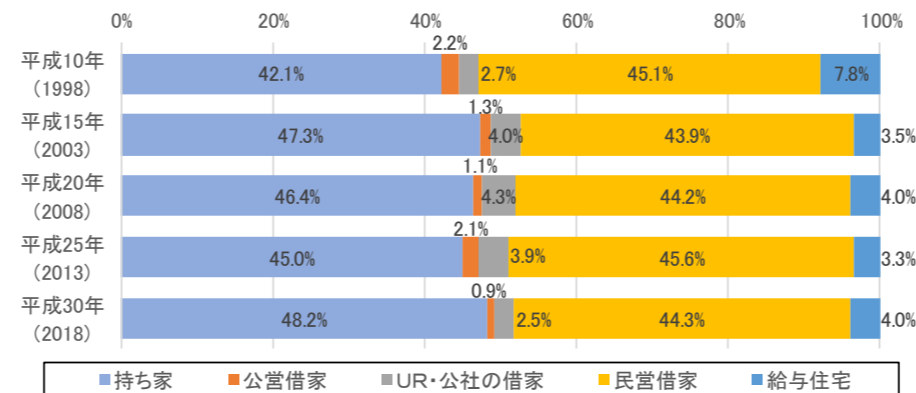
■建て方別住宅数の推移

- 一戸建は平成20年以降急激に増加し、平成30年は21,380戸となっている。
- 共同住宅は増加し続けており、平成30年は37,070戸となっている。



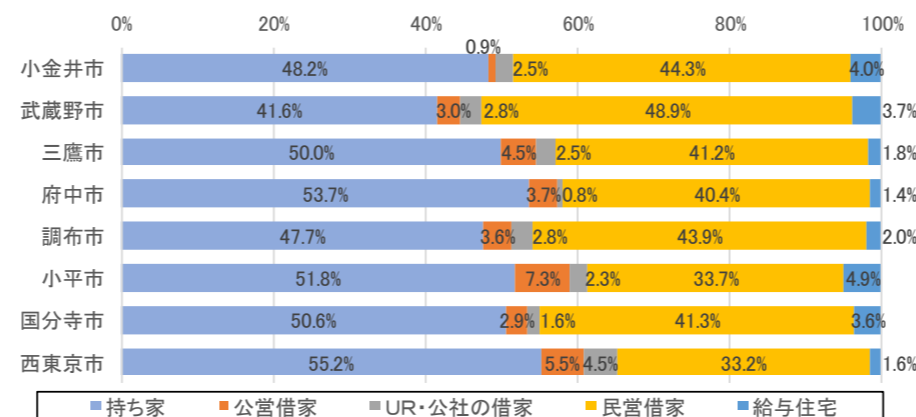
※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

＜所有関係別住宅数の割合＞



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成10年、15年、20年、25年、30年)

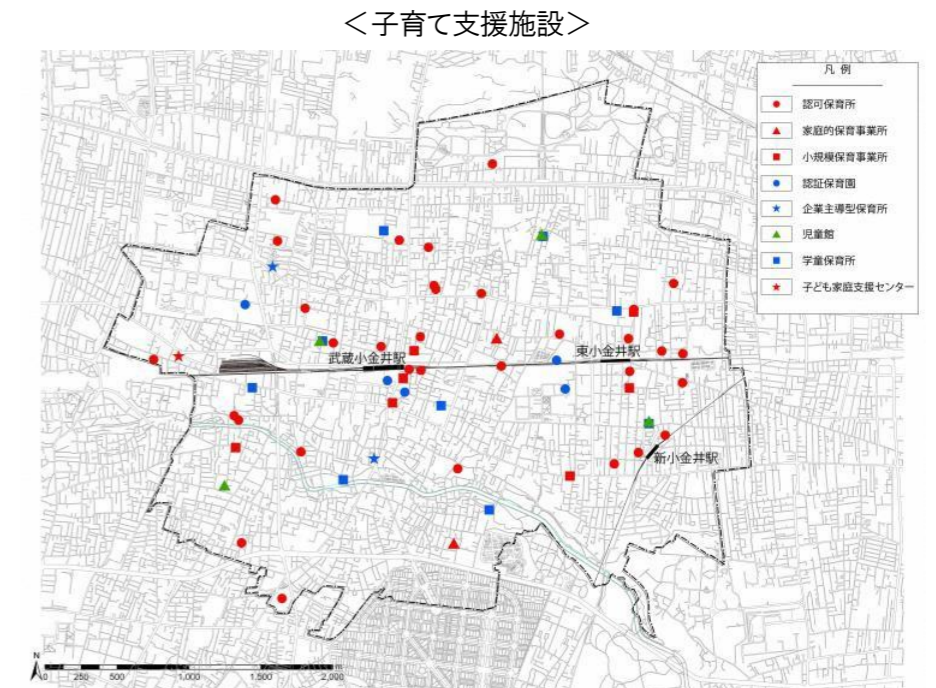
＜所有関係別住宅数の周辺市比較＞



※出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」(平成30年)

■子育て支援施設分布状況

- 認可保育所や児童館、学童保育所が広く分布している。



※出典：小金井市ホームページ「小金井市保育施設等一覧・小金井市認可外保育施設一覧」(令和2年4月1日現在)

■高齢者関連施設

- 集会所や地域包括支援センター等、高齢者の利用が多い施設が市内に広く分布している。



※引用：こがねいデータブック 2018

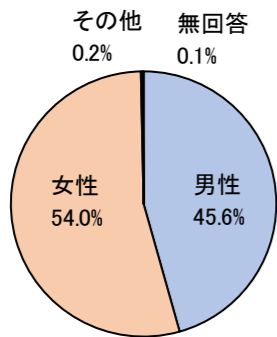
2. 「小金井市都市計画マスタープラン」見直しのためのアンケート 調査結果

1. アンケート調査概要

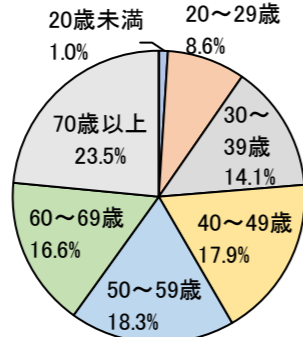
- 調査対象: 令和2年2月1日現在、満18歳以上の小金井市民から無作為に抽出した3,000人(外国人含む)
 - 調査方法: 郵送配布・郵送回収方式
 - 調査期間: 令和2年2月26日～令和2年3月19日
 - 調査状況: 有効回収数903件(回収率30.1%)
- 注)小数点以下第2位を四捨五入しているため、グラフの合計値が100%にならないことがある。

2. 回答者属性(問1)

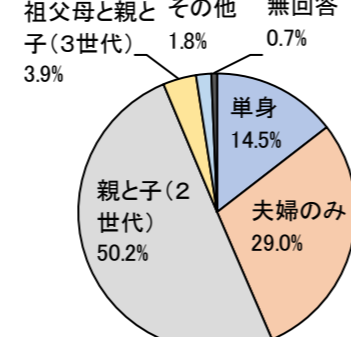
(1) 性別



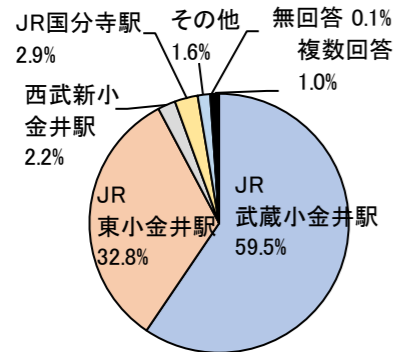
(2) 年齢



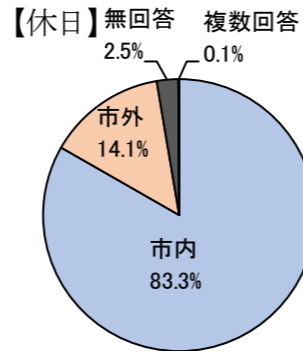
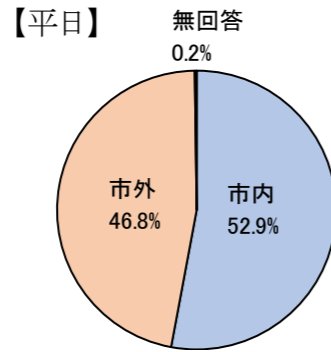
(3) 世帯構成



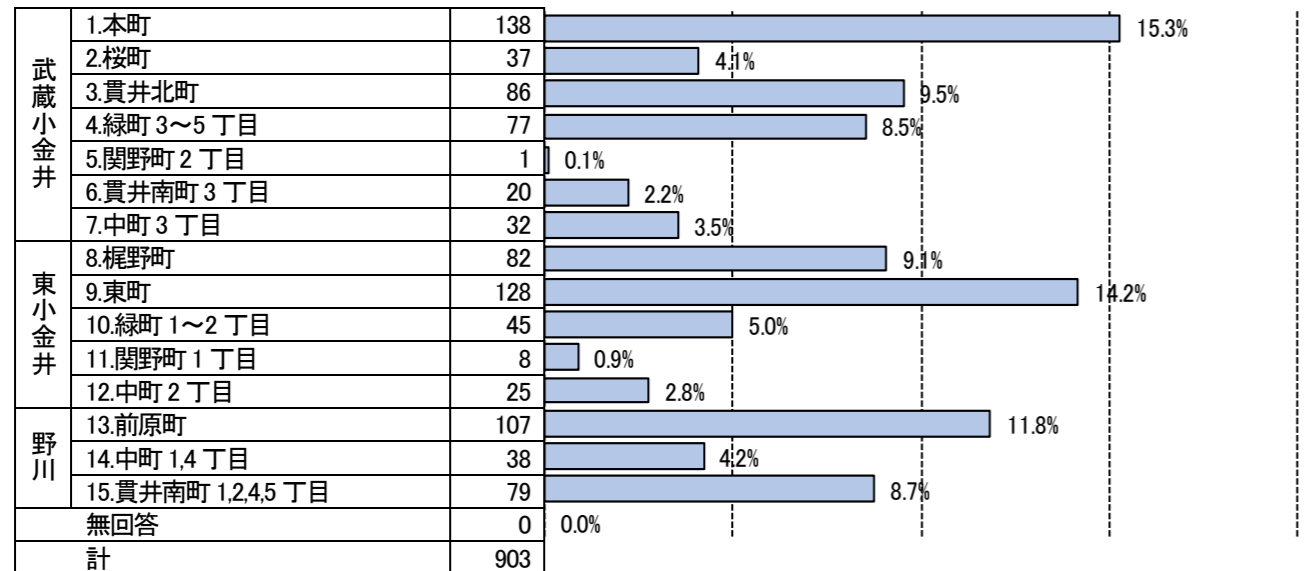
(5) 主な利用駅



(6) 日中の居場所



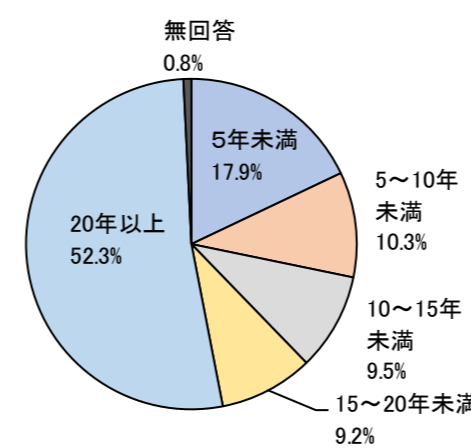
(4) 住まい



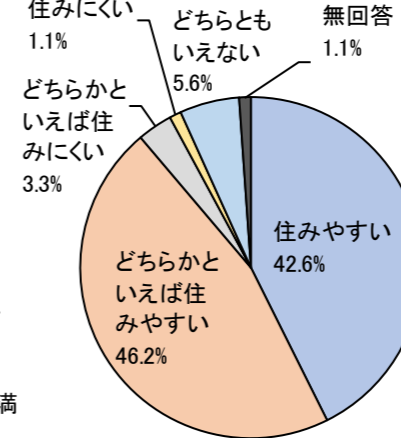
3. 小金井市での暮らし(問2)

- ・居住年数は、「20年以上」が52.3%と最も高い。
- ・「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計は88.8%で、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の合計は4.4%である。
- ・「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」の合計は79.7%で、「引っ越したい」、「できれば引っ越したい」の合計は5.6%である。

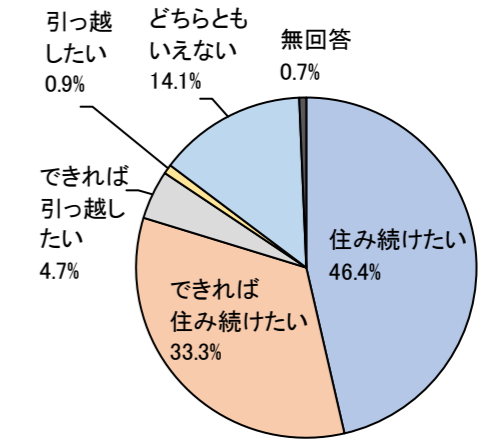
(1) 居住年数



(2) 住み心地



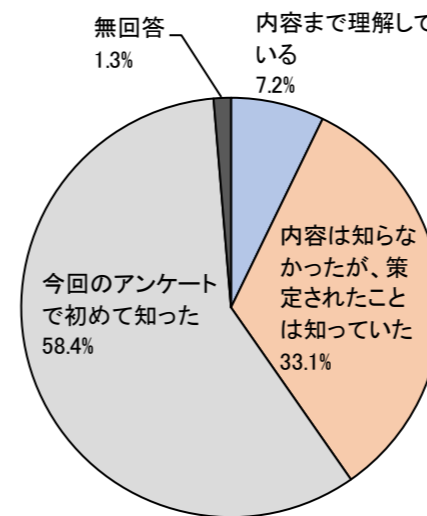
(3) 今後の居住意向



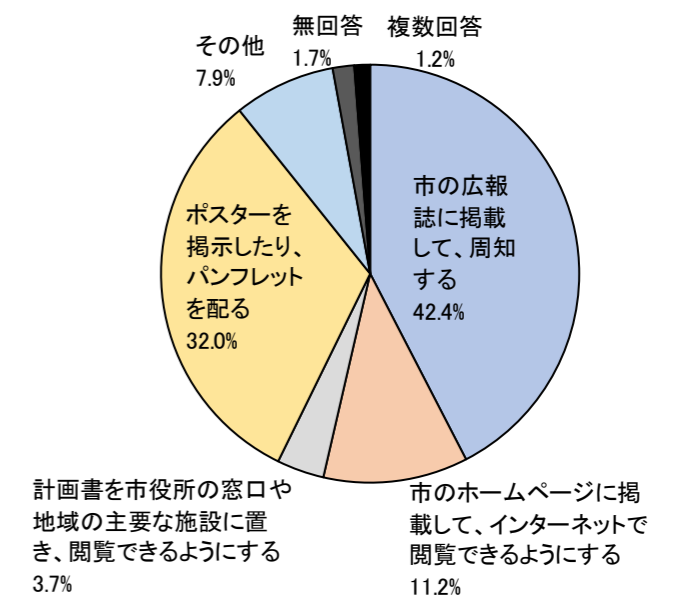
4. 都市計画マスタープランの認知度(問3)

- ・都市計画マスタープランの認知度については、「今回のアンケートで初めて知った」が58.4%と最も多く、次いで「内容は知らなかったが、策定されたことは知っていた」となっている。
- ・都市計画マスタープランの効果的な周知方法については、「市の広報誌に掲載して、周知する」が42.4%と最も多く、次いで「ポスターを掲示したり、パンフレットを配る」が32.0%となっている。
- ・都市計画マスタープランの効果的な周知方法の「その他」については、「SNS(Facebook、Twitter等)の活用」や「選択肢を複合的に(全部)実行するとよい」等が多く挙げられた。

(1) 都市計画マスタープランの認知度

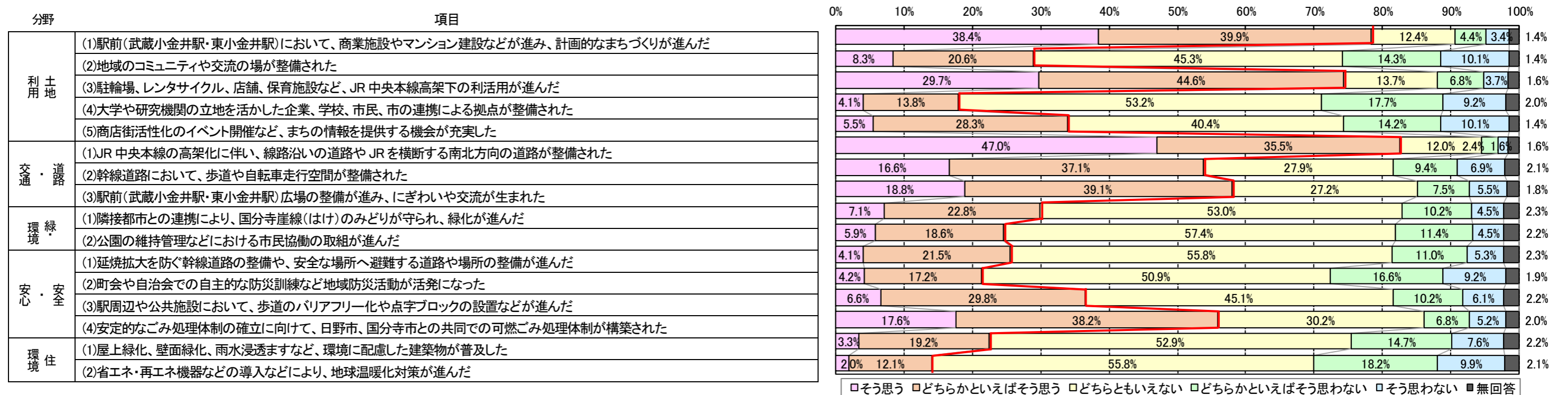


(2) 都市計画マスタープランの効果的な周知方法



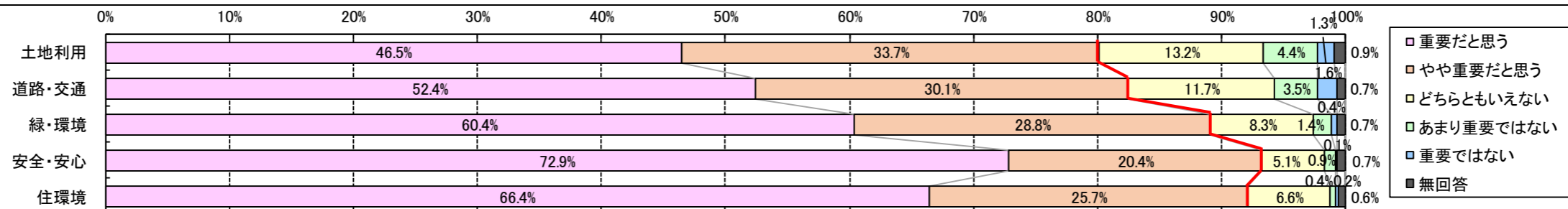
5. 平成22年（10年前）と現在の比較（問4）

- ・「土地利用」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計でみると、「(1) 駅前(武蔵小金井駅・東小金井駅)において、商業施設やマンション建設などが進み、計画的なまちづくりが進んだ」「(3) 駐輪場、レンタサイクル、店舗、保育施設など、JR 中央本線高架下の利活用が進んだ」が7割以上となっている。
- ・「道路・交通」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計でみると、「(1) JR 中央本線の高架化に伴い、線路沿いの道路や JR を横断する南北方向の道路が整備された」は8割以上となっている。
- ・「緑・環境」では、「(1) 隣接都市との連携により、国分寺崖線(はけ)のみどりが守られ、緑化が進んだ」「(2) 公園の維持管理などにおける市民協働の取組が進んだ」のいずれも、「どちらともいえない」が5割以上となっている。
- ・「安全・安心」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計でみると、「(4) 安定的なごみ処理体制の確立に向けて、日野市、国分寺市との共同での可燃ごみ処理体制が構築された」が5割以上となっているが、他の項目は、いずれも「どちらともいえない」が約5割となっている。
- ・「住環境」では、「(1) 屋上緑化、壁面緑化、雨水浸透ますなど、環境に配慮した建築物が普及した」「(2) 省エネ・再エネ機器などの導入などにより、地球温暖化対策が進んだ」のいずれも、「どちらともいえない」が5割以上となっている。



6. 分野ごとの重要度（問5）

- ・「重要だと思う」、「やや重要だと思う」の合計でみると、「安全・安心」が93.3%と最も高く、次いで「住環境」が92.1%、「緑・環境」が89.2%となっている。
- ・「道路・交通」、「土地利用」も、「重要だと思う」、「やや重要だと思う」の合計が8割以上となっている。

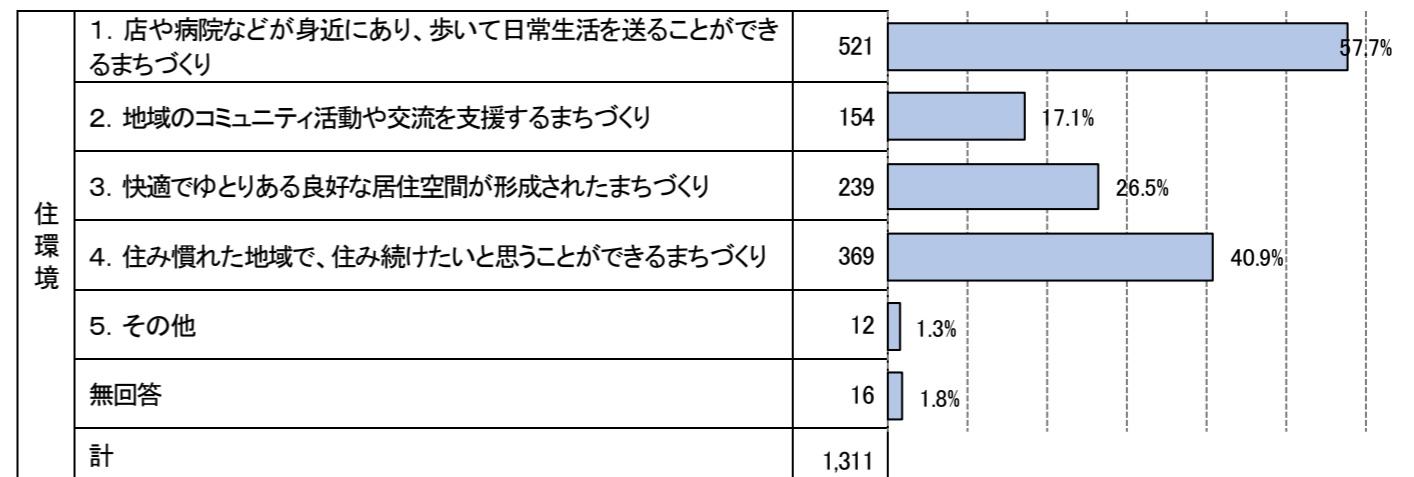
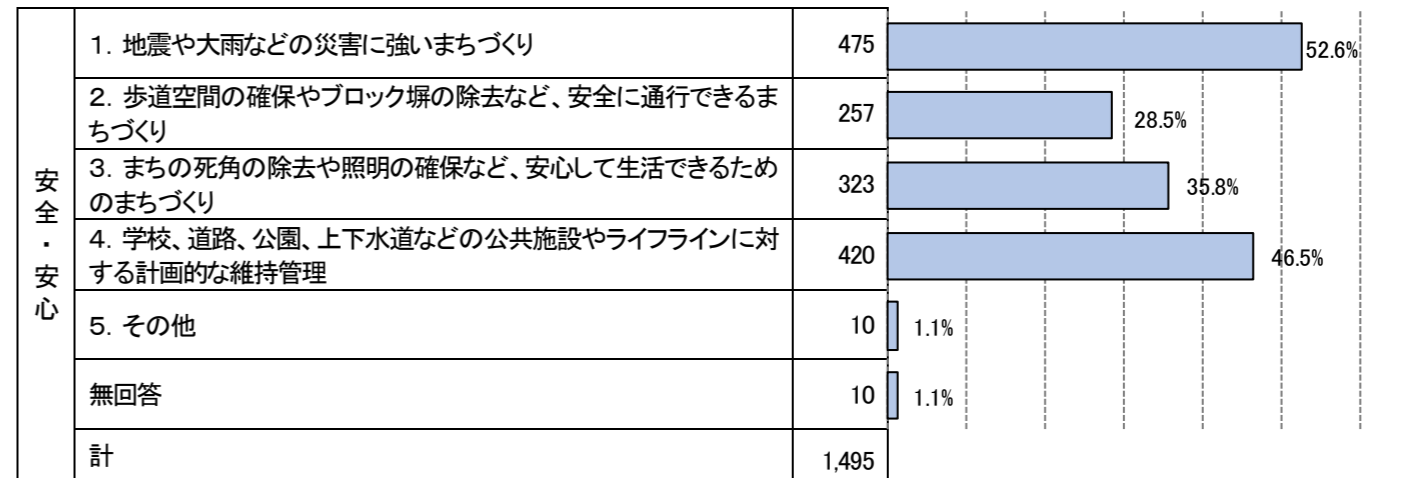
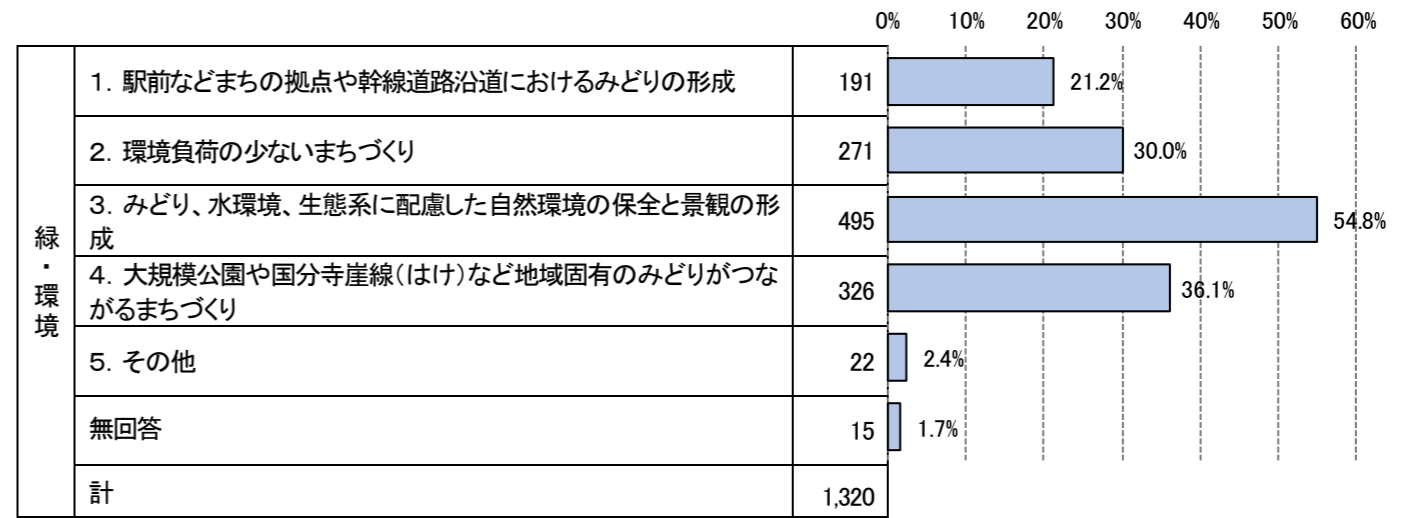
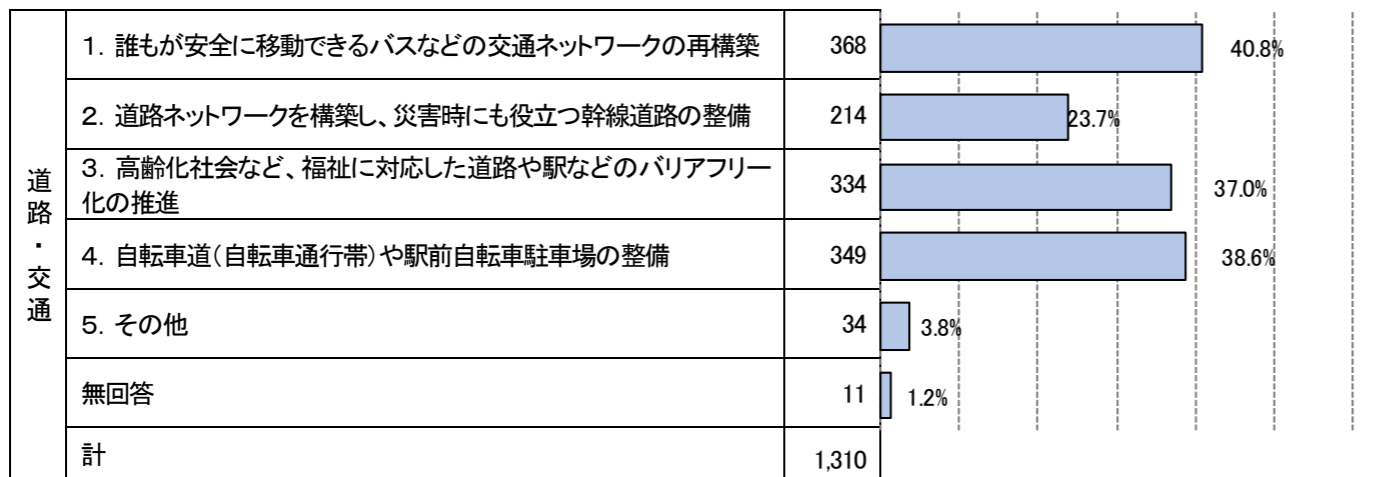
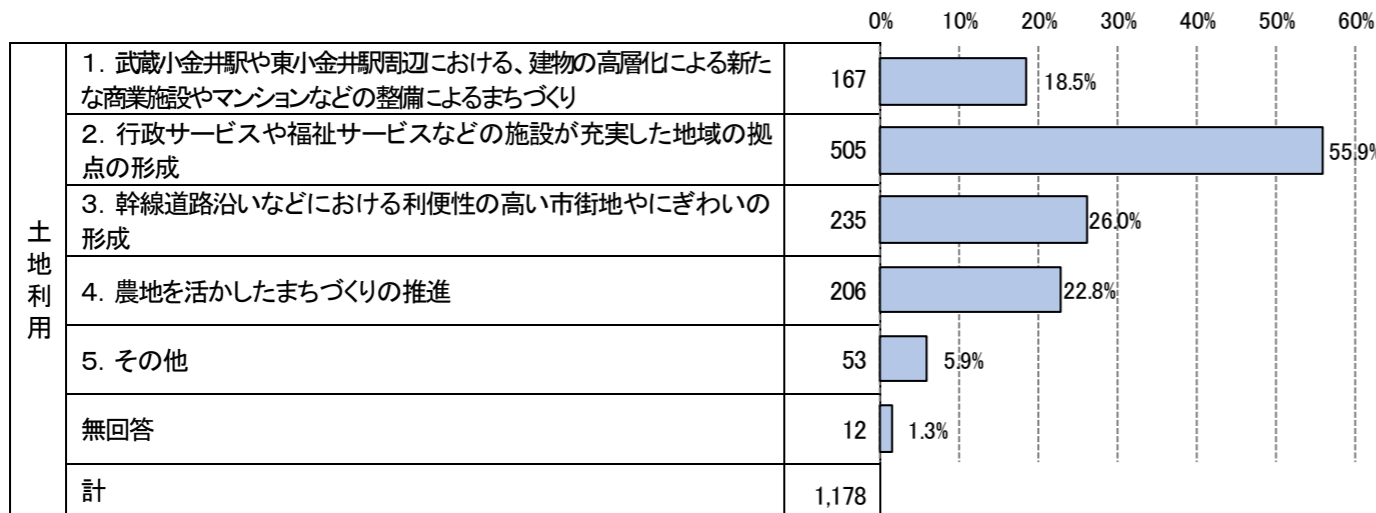


【自由記述】

5分野以外に「今後のまちづくりにおいて重要と思う分野」	ごみ関連施策	公共施設の充実、有効活用	教育の観点	…等
「土地利用」に関する意見	・武蔵小金井駅北口の再開発	・小金井市らしいまちづくり、開発を希望	・高層マンション・商業施設の抑制	…等
「道路・交通」に関する意見	・自転車関連施策	・公共交通の充実	・道路の整備・拡幅	…等
「緑・環境」に関する意見	・みどり、自然の保全・活用	・農地(生産緑地等)の保全	・公園の整備	…等
「安全・安心」に関する意見	・防災体制の強化	・防犯性の高いまちづくり	・安全・安心に暮らせるまち(特に子供・高齢者)	…等
「住環境」に関する意見	・子育て世代への対応	・子供が遊べる・暮らしやすいまち	・高齢者が住みやすい環境・サービス	…等

7. 分野ごとに望むこと（問6）

- ・「土地利用」では、「2. 行政サービスや福祉サービスなどの施設が充実した地域の拠点の形成」が 55.9%で最も多く、次いで「3. 幹線道路沿いなどにおける利便性の高い市街地やにぎわいの形成」が 26.0%、「4. 農地を活かしたまちづくりの推進」が 22.8%となっている。
- ・「道路・交通」では、「1. 誰もが安全に移動できるバスなどの交通ネットワークの再構築」が 40.8%で最も多く、次いで「4. 自転車道（自転車通行帯）や駅前自転車駐車場の整備」が 38.6%、「3. 高齢化社会など、福祉に対応した道路や駅などのバリアフリー化の推進」が 37.0%となっている。
- ・「緑・環境」では、「3. みどり、水環境、生態系に配慮した自然環境の保全と景観の形成」が 54.8%で最も多く、次いで「4. 大規模公園や国分寺崖線（はけ）など地域固有のみどりにつながるまちづくり」が 36.1%、「2. 環境負荷の少ないまちづくり」が 30.0%となっている。
- ・「安全・安心」では、「1. 地震や大雨などの災害に強いまちづくり」が 52.6%で最も多く、次いで「4. 学校、道路、公園、上下水道などの公共施設やライフラインに対する計画的な維持管理」が 46.5%、「3. まちの死角の除去や照明の確保など、安心して生活するためのまちづくり」が 35.8%となっている。
- ・「住環境」では、「1. 店や病院などが身近にあり、歩いて日常生活を送ることができるまちづくり」が 57.7%で最も多く、次いで「4. 住み慣れた地域で、住み続けたいと思うことができるまちづくり」が 40.9%、「3. 快適でゆとりある良好な居住空間が形成されたまちづくり」が 26.5%となっている。



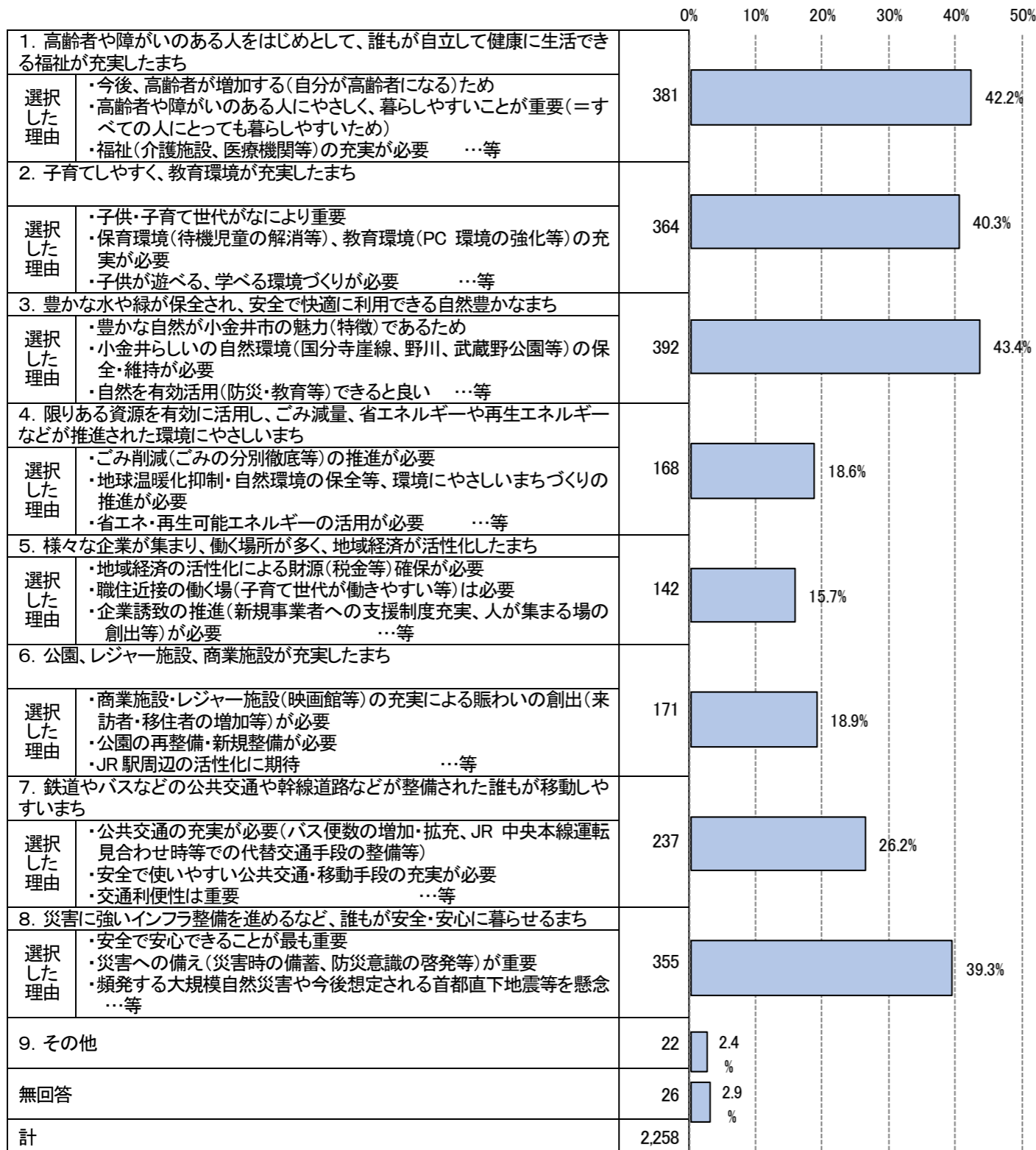
【自由記述】

「土地利用」に関する意見	・高層マンション・商業施設の抑制 ・東小金井駅の土地活用を武蔵小金井駅と同程度に ・武蔵小金井駅北口の再開発 …等
「道路・交通」に関する意見	・狭い、荒れた生活道路の整備・改善 ・公共交通の充実（バス路線の拡充・増便） ・自転車関連施策（自転車ネットワークの整備、自転車利用マナーの徹底） …等
「緑・環境」に関する意見	・自然のあるまちづくりが必要（みどり・地形の保全） ・野川の保全、活用 ・ほどほどの賑わい（駅周辺）とみどりの調和が小金井市の魅力 …等
「安全・安心」に関する意見	・子供が安全・安心に暮らせるまち ・暗い道路の解消（住宅地、子供の帰り道等） ・災害に強いインフラ整備（公園整備・無電柱化等） …等
「住環境」に関する意見	・若い世代が住みやすい、子育てしやすいまちづくり ・商店街の活性化 ・地域コミュニティの活性化（住民交流、多世代交流、イベント開催等） …等

8. 20年後の小金井市の姿（問7）

・「3. 豊かな水や緑が保全され、安全で快適に利用できる自然豊かなまち」が43.4%と最も多く、次いで「1. 高齢者や障がいのある人をはじめとして、誰もが自立して健康に生活できる福祉が充実したまち」が42.2%、「2. 子育てしやすく、教育環境が充実したまち」が40.3%となっている。

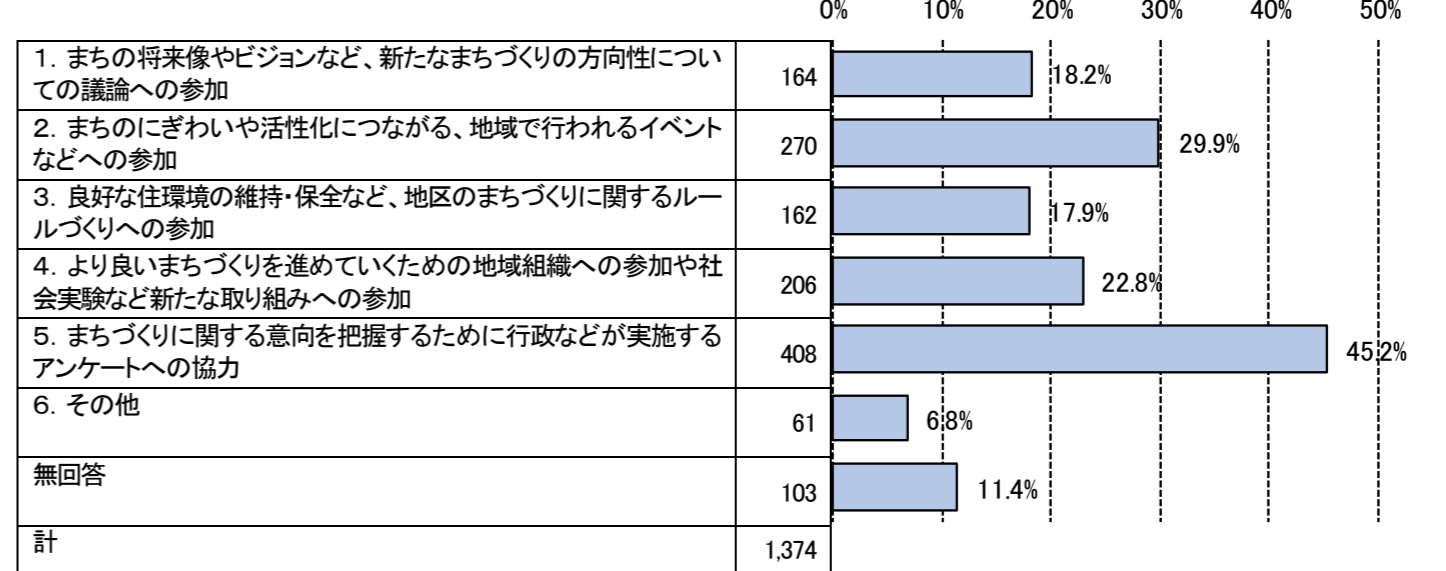
・また、「8. 災害に強いインフラ整備を進めるなど、誰もが安全・安心に暮らせるまち」は39.3%、「7. 鉄道やバスなどの公共交通や幹線道路などが整備された誰もが移動しやすいまち」は26.2%と比較的多くなっている。



9. まちづくりへのかかわり（問8）

・「5. まちづくりに関する意向を把握するために行政などが実施するアンケートへの協力」が45.2%と最も多く、次いで「2. まちのにぎわいや活性化につながる、地域で行われるイベントなどへの参加」が29.9%、「4. より良いまちづくりを進めていくための地域組織への参加や社会実験など新たな取り組みへの参加」が22.8%となっている。

・「6. その他」については、「高齢になったから参加できない」、「忙しいから参加できない」等、参加できない理由を記載する回答が多くみられた。



10. 将来のまちのイメージ（問9）

・次ページ参照

11. 自由意見（問10）

「土地利用」に関する意見	・武蔵小金井駅北口の再開発 ・高層マンションや商業施設の抑制 ・小金井らしさを残してほしい(自然、農地、田舎らしさ等) …等
「道路・交通」に関する意見	・道路の整備、拡幅 ・公共交通の充実 ・自転車関連施策 …等
「緑・環境」に関する意見	・みどり・自然の保全 ・公園の整備・保全 ・自然と触れ合えるまち …等
「安全・安心」に関する意見	・安全・安心できるまち ・喫煙マナーの徹底 ・子供、高齢者にやさしいまちづくり …等
「住環境」に関する意見	・落ち着いた住める静かなまち ・空き家対策 ・学生・単身者が住みやすいまち …等
「教育・文化」に関する意見	・図書館の整備 ・子育てしやすいまちづくり ・大学との連携 …等
「産業」に関する意見	・商店街の保全・活性化 ・イベント開催 ・企業誘致 …等
「医療・福祉」に関する意見	・福祉施策の充実 ・保育園の整備 …等
「行政」に関する意見	・ごみ関連施策 ・行政の実行力の向上 ・財源(税金)の確保 …等
「住民参加」に関する意見	・住民意見の反映(アンケート、パブコメ) ・住民、地域同士の意見交換会 …等
「まちづくり」に関する意見	・住民が人を大切にするまちづくり ・小金井市らしいまちづくりを(自然が多い、大学が多い) …等

10. 将来のまちのイメージ (問9)

【期待すること】
 ・道路ネットワークの充実(渋滞緩和、事故防止策、街路樹、特に連雀通り)
 ・本町住宅の更新
 ・新庁舎を活かしたまちづくり

【期待すること】
 ・高架下の有効活用、活性化

【魅力ある街の姿】
 ・いつまでも変わらない風景(景観の維持、人の手を加えない)
 ・子供が安全で安心して遊べる・学びの場

【期待すること】
 ・自然環境の保全
 ・桜並木の保全・整備(土手・野川沿い、観光名所として)
 ・生物多様性の保全

【魅力ある街の姿】
 ・みどり豊かな町

【期待すること】
 ・はけ・坂道の整備・保全(生態系、自然)
 ・野川の整備・保全(清流復活、野川へのアクセス性向上)
 ・公共施設の整備(図書館・体育館等、周辺市の施設利用の推進)

【魅力ある街の姿】
 ・自然と触れ合える場、自然のあふれる公園

【期待すること】
 ・自然の保全(季節の草木、はけ)
 ・イベント開催(フリーマーケット、健康イベント)

【魅力ある街の姿】
 ・にぎやかで活気のある駅前
 ・自然がある(感じられる)駅前

【期待すること】
 ・北口の整備(再開発)の推進
 ・商業・娯楽施設の充実(商店街の活性化、大規模商業施設の充実、個人商店への支援等)

【魅力ある街の姿】
 ・自然が体感できる、自然豊かな場所
 ・子供が安全で安心して遊べる・学びの場

【期待すること】
 ・自然の維持・保全
 ・小金井公園の拡張・整備(トイレ・ベンチの整備等)

【期待すること】
 ・道路ネットワークの充実(遊歩道、他地域へのアクセス性の向上、南北道路の整備)
 ・自然・農地の保全(ミニ開発の抑制)
 ・商業施設の充実

【期待すること】
 ・桜の保全、植え替え
 ・河川環境、生物多様性の保全

【魅力ある街の姿】
 ・にぎやかで活気のある駅前
 ・利便性の高い駅前

【期待すること】
 ・商業・娯楽施設の充実(独自性のある店、グルメ街、商店街)
 ・道路ネットワークの充実
 ・東小金井駅南口の整備

小金井市全体

【魅力ある街の姿】
 ・みどり・自然が多いまち(桜、生物、水)
 ・安全で安心なまち(治安のよい、バリアフリー、街灯の整備)
 ・住みやすいまち(みどりが多い、誰もが住みたくなる、商業地とのメリハリ、高級住宅地として)
 ・文教を活かしたまち(各大学・産学官民連携、学園都市として)

【生活のイメージ】
 ・イベントの開催(スポーツ、文化、自然を活かしたイベント、講演会、まつり)
 ・誰にでも優しいまち(子供、高齢者、障害のある人)
 ・市民活動・地域コミュニティが活発

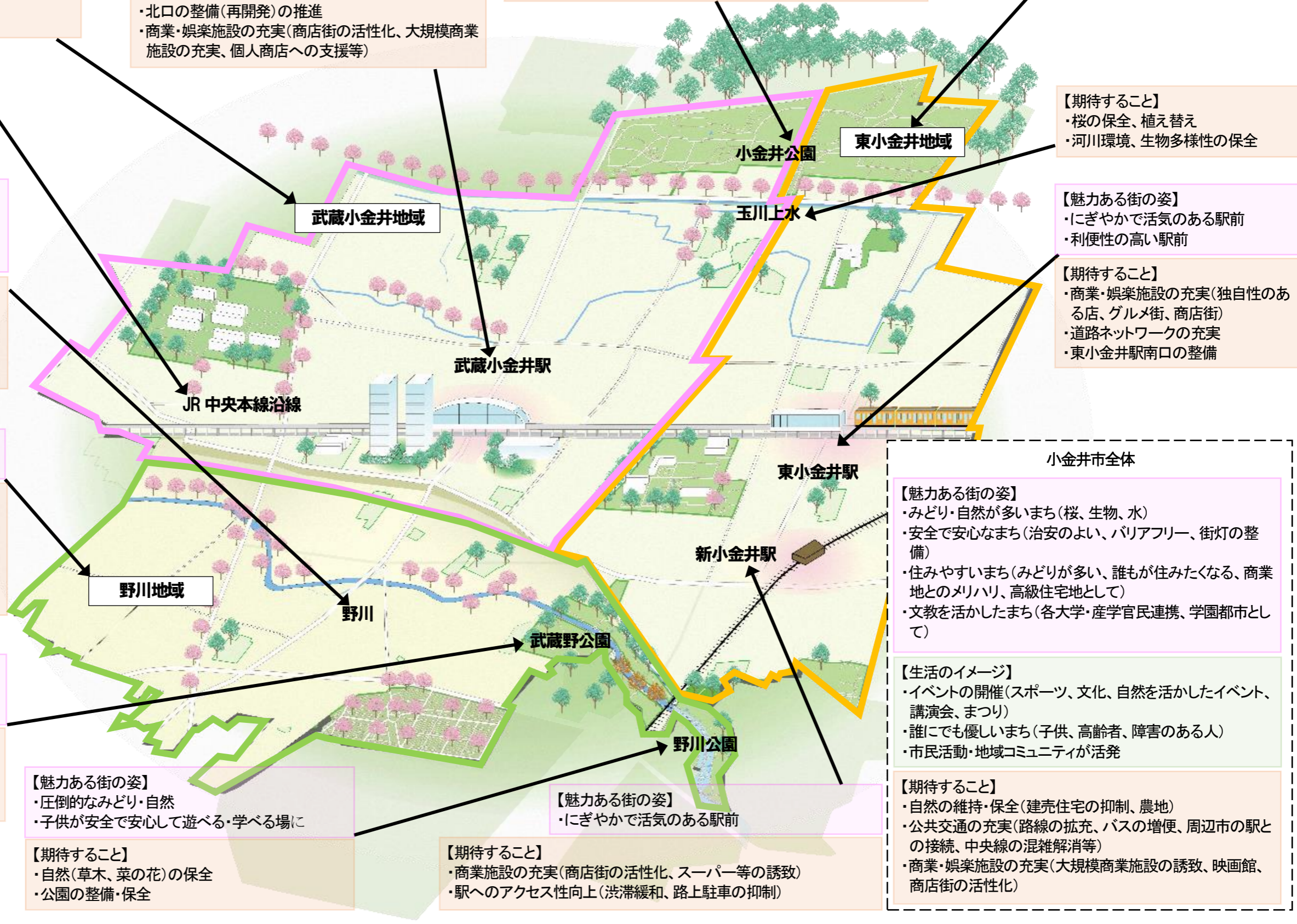
【期待すること】
 ・自然の維持・保全(建売住宅の抑制、農地)
 ・公共交通の充実(路線の拡充、バスの増便、周辺市の駅との接続、中央線の混雑解消等)
 ・商業・娯楽施設の充実(大規模商業施設の誘致、映画館、商店街の活性化)

【魅力ある街の姿】
 ・圧倒的なみどり・自然
 ・子供が安全で安心して遊べる・学べる場

【期待すること】
 ・自然(草木、菜の花)の保全
 ・公園の整備・保全

【魅力ある街の姿】
 ・にぎやかで活気のある駅前

【期待すること】
 ・商業施設の充実(商店街の活性化、スーパー等の誘致)
 ・駅へのアクセス性向上(渋滞緩和、路上駐車抑制)



3. 市民協議会の開催結果

1. 市民協議会の開催概要

(1) 市民協議会の開催目的

小金井市都市計画マスタープランの見直しに向け、小金井市の現状及び課題、まちの将来像について、市民の意向を把握し、都市計画マスタープランの見直しの基礎資料とするために実施する。

(2) 募集方法

市報及び市ホームページにて募集を行った。

(3) 開催概要

今年度は、下記の日程にて計3回実施した。

回	日時	場所	出席者
第1回	令和2年8月1日(土) 午後2時～4時	本庁舎3階第一会議室	15名
第2回	令和2年9月12日(土) 午後2時～4時	商工会館2階会議室	15名
第3回	令和2年9月26日(土) 午後2時～4時	商工会館3階萌き木ホール	14名

(4) 各回のテーマと実施方法

①第1回

・4グループに分かれて、グループごとに意見交換

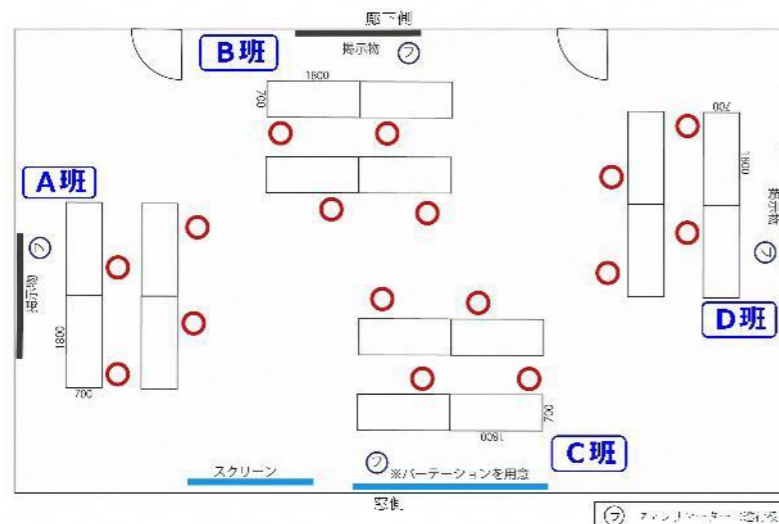
(テーマ)

・「地域の魅力(長所)」「地域の課題(短所)」についての意見交換

⇒参加者が、普段の生活のなかで感じる地域の魅力や課題について

・「将来の小金井市(まち)に求める視点」についての意見交換

⇒「地域の魅力」「地域の課題」を踏まえ、「課題を解消するために」「地域の魅力を伸ばすために」、将来の小金井市がどのようなまちになって欲しいか(まちに求める視点)について



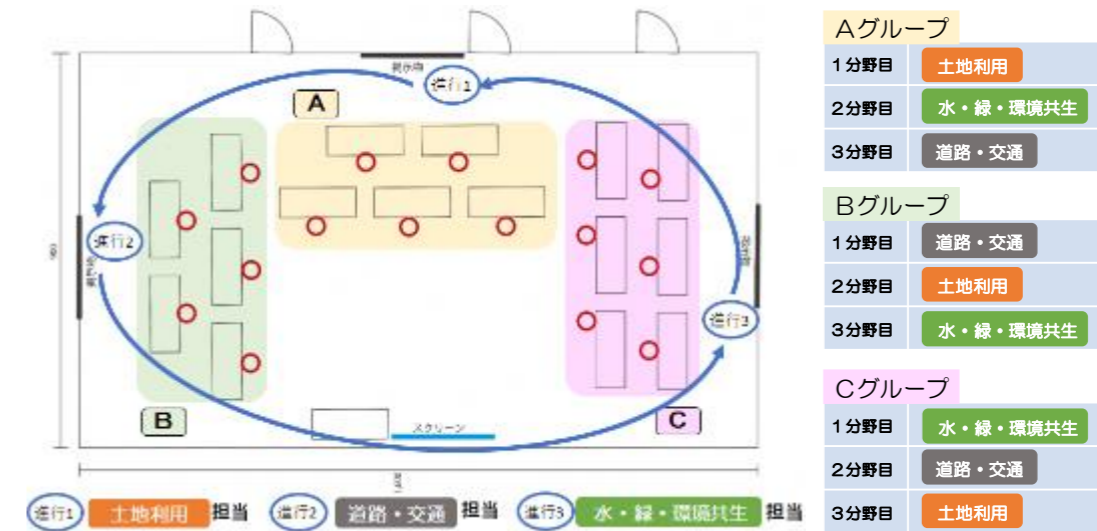
②第2回

・3グループに分かれて、3分野の意見交換

(テーマ)

・「土地利用」「道路・交通」「水・緑・環境共生」に関わる「将来の小金井市(まち)に求める視点」

⇒第1回の「地域の魅力や課題」、「将来のまちに求める視点」を踏まえ、「土地利用」「道路・交通」「水・緑・環境共生」に関わる分野ごとの「まちに求める視点」について、具体的な意見を引き出すため、ワールドカフェ方式で意見交換を実施



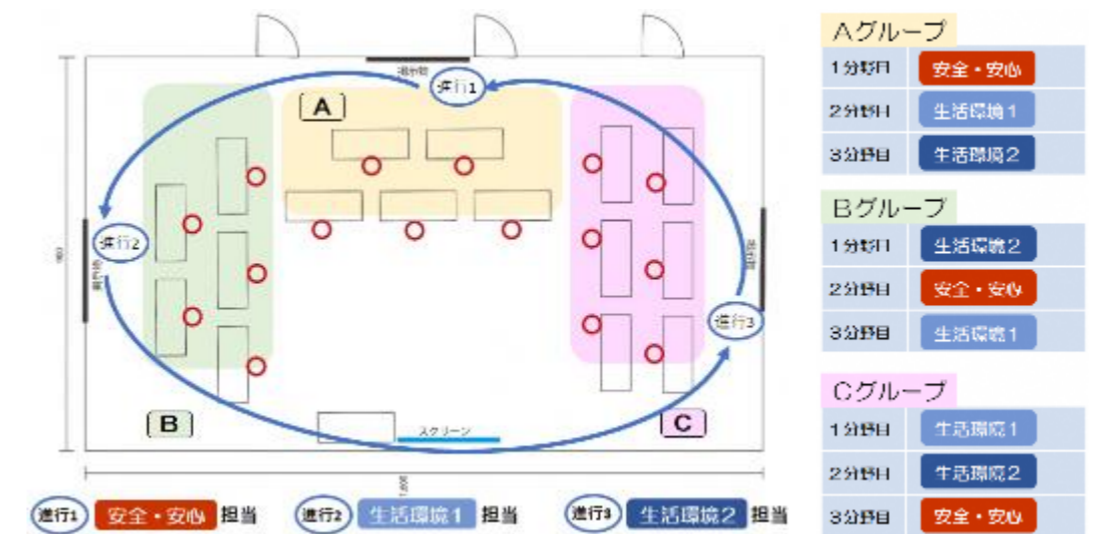
③第3回

・3グループに分かれて、2分野の意見交換

(テーマ)

・「安全・安心」「生活環境」に関わる「将来の小金井市(まち)に求める視点」

⇒第1回の「地域の魅力や課題」、「将来のまちに求める視点」を踏まえ、「安全・安心」「生活環境」に関わる分野ごとの「まちに求める視点」について、具体的な意見を引き出すため、ワールドカフェ方式で意見交換を実施



2. 市民協議会の開催結果

(1) 第1回市民協議会の結果・まとめ

【A班】意見の整理・まとめ

分野	■ 地域の「魅力」	■ 地域の「課題」	■ まちに求める視点（意見・提案等）		
土地利用	<p>■ 駅周辺が便利（①、②）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーが多い ・JR高架下のお店の利用 ・すてきな個人店がある <p>■ にぎわいのあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントが多い ・駅前を使った大型イベントが開催 	<p>■ JR中央線の駅がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線の始発駅になっている ・都心までの交通が便利 <p>■ 教育機関が充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等が多い ・教育関連施設が充実 	<p>■ 商店街等の衰退</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人経営の飲食店等が減少している ・食堂が無い ・蕎麦屋さんが少ない ・ホテルが少ない ・駅前に娯楽施設が少ない 	<p>■ にぎわいの更なる創出と商店街の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前イベントの誘致 ・公共交通（COCOバス等）と飲食店のリンクが必要ではないか ・大学等との連携・共有を図る ・若い方が多く集まるため、利用できる店等を誘致 	<p>■ 自転車利用者にやさしい駅前環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の利用を便利にしてほしい ・駅前で自転車を無料で駐輪できるシステムがほしい（周辺店舗のレシートで2時間無料等）
道路・交通	<p>■ 都市計画道路の整備によるみどりの減少・懸念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路への市の方向性のなさ ・市のみどりを守ること、道路をつくることに対して、市の環境部署と建設部署の調整をどのように図っているのか疑問である 	<p>■ 生活道路が狭い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路で狭いところがあり、通学・通勤の人たちにとって危険 <p>■ まちづくり目標が不明確</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの方向性を明確にしてほしい。道路なのか自然維持なのか 	<p>■ 歩行者や自転車にやさしい道路環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路で狭いところがあり、通学・通勤の人たちの安全性を確保するための改善が必要 ・自転車道の整備が必要 ・通学路等における安全な歩行環境の整備 ・交通誘導方法について、信号設置や誘導員の設置により安全な道路環境にすべき 	<p>■ 狭い道路沿いの建築に対する基準の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路沿いで建設する際、セットバックする条件等、建設許可基準を強化してはどうか <p>■ 道路整備における市民意見の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見を尊重した話し合いが必要。市民協議会や市民アンケートで市民の声を把握すべき 	
水・みどり・環境共生	<p>■ 豊富な自然・みどり（③～⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多く、連続したみどりが充実している ・公園のトイレが整備されていて良い ・3箇所の自然公園（小金井、武蔵野、野川公園）に恵まれており、維持していくべき ・自然を勉強する機会が多く見受けられる ・はげの小路は、東京の名湧水57選の一つに選定されており、みどりを守るといふことに市も積極的な姿勢をみせているため、継続してほしい 	<p>■ 宅地化によるみどりの減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、近所で3,000㎡程度のみどりがみごとに宅地化されてしまっている <p>■ ごみ処理の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の問題（ごみの分別の徹底） ・ごみ処理について、もっと関心を持ってほしい 	<p>■ みどりの保全・維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを活用したみどりの保全 ・みどりの活用・宣伝・PR ・みどりを活用して子ども・高齢者・大学生をつなげる ・生垣を進める、市民で支える仕組みづくり ・自然の活用について、公園等でのイベント開催 ・良い自然を持つ家のオープン化 ・小学校区と連携した自然・農の教育体験 		
安全・安心	<p>■ 防災面の不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災面に不安 ・防災に関して、町会等（地域）との協力の仕組みづくりが必要ではないか ・毎年、大雨や水害の季節に被害を予知するあるいは、防災のしくみが良く分からない（不安） ・避難所（市庁舎）の開設が分かりにくい 		<p>■ 防災面での対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫を町内に設置する工夫をする ・市民掲示板を有効活用した防災情報の発信 		
生活環境	<p>■ 都市農地の活用がなされていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家は一定数いるが、もっと活用できるのではないかと ・農地の更なる活用を検討する必要がある ・安心なものを育てる農地や畑を残していくべき、みどり自然も含めて ・農地の活用と教育をつなげる <p>■ 小金井野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井野菜のブランド化が必要ではないか <p>■ 生活利便施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院等の施設が近くにあるので、緊急の場合に助かっている ・小金井公園や栗山公園では、スポーツ施設が充実している（③、⑦） 	<p>■ 高齢者の交流の場が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のコミュニティスペースがあると良いのではないかと（高齢化への対応） 	<p>■ 都市農地の活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地・農園を持っている方にご協力いただき、体験型農園を計画して地域活性化、趣味の拡大を図る。市内で既に70人規模での取組を始めており、更に発展させる <p>■ 公園の周辺に交流の場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園周辺に図書館、市民ホール、福祉会館、飲食店等の施設をつくる ・公園の使いやすさ ・悠友クラブ（老人クラブによる活動） 	<p>■ 小金井野菜のPR・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が求める野菜のニーズ調査 ・市民は、安心な食べ物やオーガニック野菜を求めているのではないかと ・小金井野菜生産者の見える化 ・市内のスーパーで、小金井野菜コーナーをつくり、無農薬・減農薬野菜をPRしてはどうか ・市内学校等での給食で使用し、体験してもらう ・小金井野菜を使用した飲食点等の可視化（マップ等） ・駅内にマップを提示（例えば、良心市マップ等） 	
その他	<p>■ AIの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの活用を考えるべき ・AI技術が進むと人間の力が必要なくなるため、人のためにAIを使うべき 		<p>■ 透明性のある行政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政関連施設のガラス張り（情報共有） 	<p>■ 学校授業等のIT化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校、14校へのIT化 	

【A班】意見の該当箇所

■駅周辺が便利 (①、②)

- ・スーパーが多い
- ・JR高架下のお店の利用
- ・すてきな個人店がある

■豊富な自然・みどり (③~⑥)

- ・公園が多く、連続したみどりが充実している
- ・公園のトイレが整備されていて良い
- ・3箇所の自然公園 (小金井、武蔵野、野川公園) に恵まれている。自然のまま維持していくべき
- ・自然を勉強する機会が多く見受けられる
- ・はけの小路は、東京の名湧水57選の一つに選定されており、みどりを守るといふことに市も積極的な姿勢をみせているため、継続してほしい

■生活利便施設の充実

- ・小金井公園や栗山公園では、スポーツ施設が充実している (③、⑦)



【B班】意見の整理・まとめ

分野	■ 地域の「魅力」	■ 地域の「課題」	■ まちに求める視点（意見・提案等）
土地利用	<p>■ 生活利便施設が充実 ・スーパー・ドラッグストアが多く、便利</p> <p>■ にぎわいのあるまち ・地域密着型の商業店舗がある（④、⑤）</p> <p>■ 都心へのアクセスが良い ・JR中央線の武蔵小金井駅・東小金井駅、西武線の新小金井駅があり、都心へのアクセスが良い（②、⑦、⑧）</p>	<p>■ 商店街等の衰退 ・駅前テナントが接骨院や美容院による買収が増え、魅力あるテナントが駅前に少ない、商店会がのきなみ衰退している（②） ・アクティブシニアがお金を落とせる施設が少ない ・こじやれたレストランが無い（③）</p> <p>■ イベントの波及効果が低い ・祭りのイベントは多いが、その後のつながりが無い</p> <p>■ 民間の力がうまく活用されていない ・都市開発や運営において、民間の力や知見が活かされていない ・せっかくの再開発による公開空地が利活用されていない</p>	<p>■ 就業場所の確保 ・長距離通勤しないですむまちづくり</p>
道路・交通	<p>■ 駅等へのアクセスが不便 ・東小金井駅への通勤・通学時の駅へのアクセス道路が整備されていないため、歩行者にとって危険（①） ・市内から高速道路へのアクセスが悪い ・JR中央線を南北に縦断する際の交通手段（公共交通）が不足している</p>	<p>■ 歩行環境が悪い ・歩行者・自転車が分離されていない道路が多く、危険 ・自転車道の整備が不足しているのでは ・自転車のマナーが悪い</p> <p>■ 交通案内が多言語対応していない ・外国人等への対応として、交通案内を充実すべきでは</p>	
水・みどり・環境共生	<p>■ 豊富な自然・みどり ・田園的風景が魅力的である ・公園等のみどりが多い ・都立公園が近くにある（⑥） ・都立公園等の大きい公園があるため、多くの人が利用できる</p>	<p>■ みどりの保全・維持 ・市街地のみどりは景観を大切にすることが重要 ・にぎわいよりのんびりを求める</p> <p>■ 低炭素社会のまちづくり ・ゼロエネルギー（低炭素化）に向けての姿勢が重要</p>	<p>■ 産学官連携したまちづくり ・産学官連携したまちづくりが重要 ・積極的な民間活用（例：PPP等） ・市民協働でまちづくりを進める仕組みづくり ・民の役割：利益の追求 ・住民の役割：サービスの享受</p> <p>■ 魅力を維持していくための検討が必要 ・良いモノは維持していくことが大事であり、人口減少のなかのように魅力を維持していくかを検討することが重要（みどり税とか） ・維持するためには、魅力の活用方法の工夫が重要</p>
安全・安心	<p>■ 犯罪が他都市より少ないのではないか ・犯罪が少ないと思う（他市の状況と定量的に比較してほしい）</p>	<p>■ 狭隘道路が多く、防災面で不安 ・狭い道路が多く、火災発生時における防災面の不安がある ・東小金井地区では、緊急輸送道路がカバーされていない</p> <p>■ 避難所の防災機能が不安 ・災害時に避難所として使用される公共施設について、災害時の使用に耐えるものとなっているか不安</p>	
生活環境	<p>■ 地域コミュニティが形成 ・市民ネットワーク（ご近所付き合い）がある ・市民のNPO法人等が頑張っている</p> <p>■ 文教都市 ・質の高い学校が多い、文教都市</p>	<p>■ 大学が活用されていない ・文教都市であるにもかかわらず、大学等の活用がなされていない ・大学を活用すべきである。施設の公開等 ・大学用地で、狭い小金井市のスペースを占有しているのでは</p> <p>■ 分譲マンション等が高い ・分譲マンション・戸建ての値段が高く、若い世代が買えない</p> <p>■ 空き家・空き地が増えている ・空ビル・空き地が増加しており、犯罪や火災の懸念 ・空ビル・空き地の有効活用ができてない（駅北口）</p>	<p>■ 日常生活圏での地域コミュニティの強化 ・老人と若者において、まちに求めるものが異なる ・徒歩圏でのコミュニティをつくるのが大事 ・近所の助け合いが重要</p> <p>■ 子育て世代を増やす教育施設の充実を図る ・子育て世代にも配慮した教育関連施設の充実が必要 ・私立学校等は、他市に劣らないようにする必要</p>
その他	<p>■ 行政運営 ・古い組織の再編が必要かもしれない、行政施策が古い ・自主財源先の確保のため、都市計画税の検討 ・市民等のまちづくりへの関心が低い</p>	<p>・貧困対応等が見えない ・環境施設の充実が必要ではないか（省エネ対応、ZEB：Zero Energy Building等）</p>	<p>■ 人材育成 ・小学生が理解できるような都市計画マスタープランの授業をつくる（小さいうちから、都市計画を担う人材を育成する） ・国・都との協力関係を良くする（人事等） ・奨学金制度の充実が必要</p>

【C班】意見の整理・まとめ

分野	地域の「魅力」	地域の「課題」	まちに求める視点（意見・提案等）
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・市民が運営するイベントが沢山あり、楽しめる ・市民活動が活発で市民力の高さが魅力 ■駅周辺の買い物が便利（①、②） <ul style="list-style-type: none"> ・日常の買い物をするスーパー等がたくさんあり便利 ・個人経営店舗が魅力的 ・駅前には適度に便利、普段の買い物で困ることはない 	<ul style="list-style-type: none"> ■近くに商業施設が無い <ul style="list-style-type: none"> ・駅まで行かないと買い物しづらい ・家の近くの買い回り（買い物）が不便 ■商店街等の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の衰退による商店の減少 ・再開発により、個人経営店舗が減ってしまい、さみしい ・自転車を止めて、円滑に買い物ができる商店が減ってしまった ■駅北口に駐輪場が無い <ul style="list-style-type: none"> ・駅北口に、自転車駐輪場がほしい ■市民活動への支援が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動に対して、行政の支援が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいを維持 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺は今くらいのにぎわいで良い
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■公共交通が便利 <ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線があるため、都心へのアクセスが良い ・COCOバスが便利 	<ul style="list-style-type: none"> ■バスの乗り継ぎ等が不便 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り継ぎが大変 ・バスが無い地域もある ■道路整備によるみどりの減少 <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備により、自然ばかり破壊されて、住んでいられなくなると思う ・近くに道路計画があり、本当に整備されるのかと不安 ■歩行者・自転車に危険な道路 <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした道路が無い ・歩道が狭い ・車道と自転車通行帯が狭くて危険な箇所がある ・狭い道路で、電柱が邪魔 ・全体的に解消してほしい ■駅へのアクセスが悪い <ul style="list-style-type: none"> ・国分寺崖線以南の地域は駅まで行くのに大変 	<ul style="list-style-type: none"> ■機能を変化させた安全な道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な道路は、新しくつくるのではなく、機能を変化させるべき ・大きな変化は求めている ・ソフト的な対策してほしい
水・環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な自然・みどり（③～⑤） <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野公園や野川等の自然の中で遊べて、とても良い環境だと思う ・小金井公園等レジャーや憩いの場がある ・野川等の散歩が楽しくなる自然環境 ・大きな公園（小金井公園・武蔵野公園等）がある ・魅力的なみどりは、市民が努力して残してきたもの 		<ul style="list-style-type: none"> ■将来にわたりみどりを残していく <ul style="list-style-type: none"> ・市民のみんなで努力して残してきたみどりは、将来も残していきたい ・小さなみどりがなくなってしまうのは不安（開発等で）
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■治安が良い <ul style="list-style-type: none"> ・治安がよく、安心して暮らせる 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■良好な地域コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティができている ・ご近所付き合いが良い ・ご近所とは仲良く暮らしている ■住みやすいまち <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路が近くに無いのでとても静かな良い住環境です ■働けるまち <ul style="list-style-type: none"> ・市内で働ける環境にある 	<ul style="list-style-type: none"> ■世代間交流が希薄 <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流が無い ・情報共有しづらい ・老後の生活が不安（ソフト面で） ■施設等について <ul style="list-style-type: none"> ・総合病院まで行くのに不便な地域がある（貫井北町等） ・庁舎・公共施設・学校等が古く、ユニバーサルデザインになっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■良好な住環境の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・良好な住環境を維持していきたい ・地域格差がなくなると良い（買い物、アクセス道路等） ■空き家の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用ができると良い
その他			

【C班】意見の該当箇所

■ 駅周辺の買い物が便利 (①、②)

- ・ 日常の買い物をするスーパー等がたくさんあり便利
- ・ 個人経営店舗が魅力的
- ・ 駅前には適度に便利、普段の買い物で困ることはない

■ 豊富な自然・みどり (③~⑤)

- ・ 武蔵野公園や野川等の自然の中で遊べて、とても良い環境だと思う
- ・ 小金井公園等レジャーや憩い場がある
- ・ 野川等の散歩が楽しくなる自然環境
- ・ 大きな公園 (小金井公園・武蔵野公園等) がある
- ・ 魅力的なみどりは、市民が努力して残してきたもの



凡例

- 「魅力」意見箇所
- 「課題」意見箇所
- 「将来のまちに求める視点」意見箇所

【D班】意見の整理・まとめ

分野	■ 地域の「魅力」	■ 地域の「課題」	■ まちに求める視点（意見・提案等）	
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動が活発（イベント等の開催） ■学生が住みやすいまちに <ul style="list-style-type: none"> ・学生が住みやすいまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者の交流の場が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に向けて地域の方が集まれる場所が必要 ■地域の拠点が無い <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとにまちづくりの拠点があればいい ・駅前に集中させるのではなく、地域で買い物・交流できるまちにしてほしい ・中学校区くらいで買い物できるまちづくりセンターが必要 ・地域の方が歩いて暮らせるまちづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■多世代が共に利用可能な地域拠点の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と子どもと一緒に過ごせるまち ・スーパー併設の小規模（よろず屋のような）な場所の創出 ・多世代が気楽にフラッと行きたくするような場所をつくる（商店街、中学校等） ■商店街等の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が少し元気がない 	<ul style="list-style-type: none"> ■商店街の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街のにぎわい再生、付き合い・交流の場づくり ・商店街を魅力ある場所にしてい（カフェ、子どもを連れて行きたくするような場所） ・商店街の活性化 ・行政と地域とのまちおこしをもっと活発にする
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■生活道路 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地に自動車が入ってこないのが安心 ・入り組んだ道が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■生活道路 <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路が貧弱（凹凸が多い） ■都市計画道路 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3.4.1、3.4.11の見直しが必要（中止してほしい） 		
水・みどり・環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な自然・みどり <ul style="list-style-type: none"> ・みどりが多く、国分寺崖線がある（①） ・自然・みどりの多様性、保全の取組が必要 ・みどりの保全と子どもが遊べる地域の人にとっての魅力の場の創出 ・地域の人にとって重要な崖線を守っていききたい（景観・住環境） 	<ul style="list-style-type: none"> ■自然・みどりの減少 <ul style="list-style-type: none"> ・みどり・自然の減少 ・みどりが減少し、宅地化が進む ・50年間で失われたみどりが多く ・みどりの保全が必要 ・屋敷林の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■みどりを次世代に残していく <ul style="list-style-type: none"> ・小金井の魅力はみどり ・大学のみどりの重要性 ・大きなみどり（②～⑥）、小さなみどりのネットワークの維持 ・みどりのネットワークをつくっていく ・まちづくりのなかでみどりを守っていく ・みどり最優先のまちづくり ・国分寺崖線、野川等、みどりを活かしたまちづくり ■市民協働によるみどりの保全 <ul style="list-style-type: none"> ・樹林を保存する基金、保有者を集める基金等 ・みどりを手放す人の助成を市民の力でやる（基金等） ■環境に配慮したまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会（低炭素社会）、循環型のまち ・省エネルギーなまちづくり ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組 	
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■治安が良い <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所が少ない（ハザードマップ上の危険区域） ・防災面に関して比較的安心している 			
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■田舎と都会が共存した適度なまち <ul style="list-style-type: none"> ・地域の落ち着き、生活レベル、学力が高い ・適度な規模の広さ・人口である ・田舎と都会の共存 ・コンパクト ■良好な地域コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・近所の付き合いが多く、声掛けの機会が豊か ■子どもが安心して遊べる <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊びやすい環境にある 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域コミュニティの希薄化 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいアパートが増えて、住民の顔が見えなくなってきた ・なんとなく元気が無い ■空き家が活用されていない <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用が必要 ・空き家を活用したテレワーク場所の創出 ・空き家を活用して、気軽に集える場所づくり ■保育園での園庭の不足 <ul style="list-style-type: none"> ・園庭の無い保育園が多い ■都市農地の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・農と福祉の連携が必要（農と学校） ・土地の切り売りによる農地の減少 ・生産緑地の保全が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域コミュニティの維持・継続 <ul style="list-style-type: none"> ・おとなりさんカフェ ・地域コミュニティづくり ・学童・遊びの場づくり ・地域センター・集いの場づくり ・学生のシェアハウス ・空き家の活用 ■暮らしやすいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて暮らせるまちへ ・子育てしやすいまちへ 	<ul style="list-style-type: none"> ■都市農地の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・農地の有効活用（市民農園等） ・風景の保存 ・学校給食での小金井野菜 ・市民農園を増設するための行政支援、制度が必要 ・農地×福祉、学校給食等の連携を通じた保全・活用が必要 ・地産地消の仕組み
その他			<ul style="list-style-type: none"> ■その他の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより、都心に行かなくてもよくなった ・地域で過ごす時間が増えるため、地域を大切にすることが必要 ・市民の力を活かすまちづくり 	

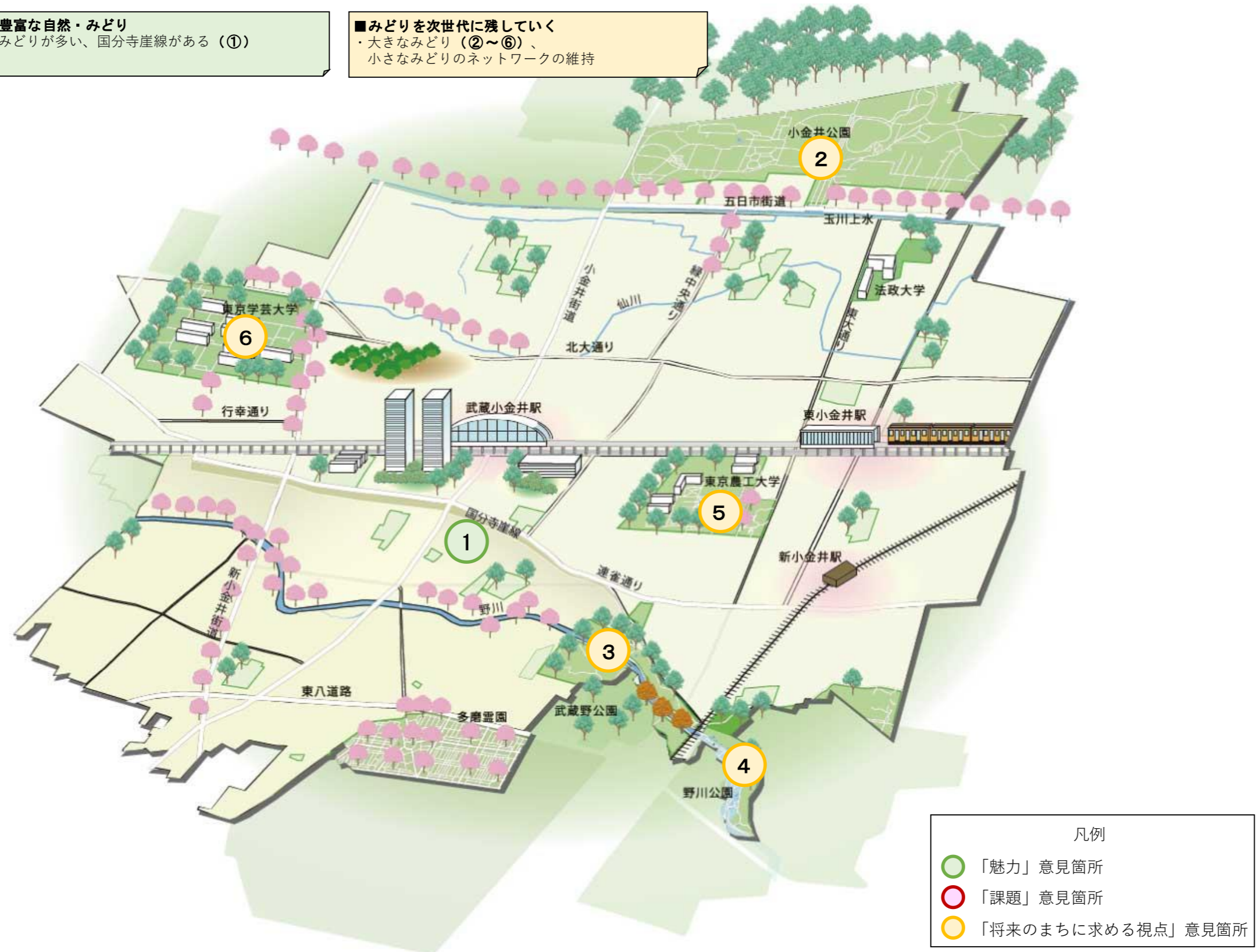
【D班】意見の該当箇所

■豊富な自然・みどり

・みどりが多い、国分寺崖線がある (①)

■みどりを次世代に残していく

・大きなみどり (②~⑥)、
小さなみどりのネットワークの維持



【土地利用】分野に関する意見のまとめ

土地利用

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等
駅周辺の魅力をさらに向上させるには？	<div data-bbox="454 478 1240 688"> <p>■歩いて楽しい駅周辺まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から小金井公園（①）までの通りの景観を良くする ・駅北口の再開発 ・小金井公園へのいざない ・商店街連携 ・回遊性の高い歩行者ネットワークを形成する（めぐりと溜まり空間、公開空地活用、歩道整備） </div> <div data-bbox="454 709 1240 898"> <p>■駅周辺の土地の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅北口の駅前ビル（旧西友）（②）の整備 ・駅北口のドン・キホーテ（③）の入っている駅前ビル（土地）の整備 ・駅周辺の街灯整備、無電柱化するとつけられない ・東小金井駅北口の土地区画整理事業の推進 </div> <div data-bbox="454 919 1240 1062"> <p>■3つの駅の個性・差別化（メリハリ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵小金井駅周辺は近代化 ・東小金井駅周辺は駅南口の低層化により、既存の商店街を守る ・新小金井駅は現状維持（牧歌的な風景） ・各駅が持つ個性を活かし、差別化を図る </div> <div data-bbox="1294 478 2407 751"> <p>■駅周辺の交通動線の円滑化（安全で利用しやすく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車をちょっと停めて買物できるお店が増えるとうれしい。イトーヨーカドー（④）は駐輪場が遠い ・駅に向かう道と駅から出る道を一方通行可する等、駅北口広場（⑤）への交通処理を円滑化・駅周辺の雨除けシェルターをもっと増やして欲しい ・駅南口（⑥）において、一般車の送迎スペースが欲しい。今はバスやタクシーとバッティングしてしまう ・駅周辺の道路ネットワークの充実 ・駅周辺の駐輪場の整備 ・武蔵小金井駅周辺の再開発第1地区と第2地区間の道路（⑦）が危ない。地区を分断している ・駅周辺は、園庭のない保育園が多いため、保育園児が遊べる場所を確保してほしい </div> <div data-bbox="1294 772 2407 915"> <p>■駅周辺の再開発（地域の個性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発で周辺の家賃が上昇し商店街にもチェーン店が増えていて残念に思う ・再開発できれいになりすぎて小金井らしさが少なくなっている ・駅北口は江戸東京たてももの園をイメージしたような再開発、低層の建物 </div>
身近な場所で地域の拠点となり得る機能や施設とは？	<div data-bbox="454 1129 1240 1465"> <p>■地域拠点（多世代交流）となり得る機能・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康関係の施設（ヘルスケア） ・集える場（公民館等）、多世代で利用できる施設 ・職住近接したまちづくり：オフィス、サテライトオフィス、ワーケーション ・小規模な市民センターが分散していると効率が悪いので、多様な機能を備えた地域拠点となる市民センターが整備され、世代間の交わりの機会をつくる ・地域（住区）を総括できる診療病院等をつくり（お茶の水駅周辺をイメージ、総合病院） ・細かな地域拠点の創出 </div> <div data-bbox="454 1486 1240 1692"> <p>■高架下を活用した地域拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央線の高架下を活用した地域拠点の創出 ・JR高架下の更なる活用による駅南北の融合 ・JR中央ラインモールとの連携、高架下の有効利用 ・東小金井駅高架下でのK O - T O や P O - T O の取組みは良いが、もう少し短期や1回限りの利用もできるようになると良い（気楽に利活用できる環境づくり） </div> <div data-bbox="1294 1129 2407 1692"> <p>■空き家等の活用による地域拠点の創出（気軽に出店＝ビジネスチャンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用して小規模店舗が安く出店できるような仕組みづくりが必要 ・「にしまさごはん」というカフェ（⑧）では、空き家を活用した店舗で、子育て世代のお母さんや子どもが集まる場所となっている ・空き家を活用して、お店を気楽に出店できる仕組みづくり ・コミュニティ施設、勉強スペース、小さい図書館等としての空き家活用 ・空き家を活用した起業支援、N P O 法人活動等の支援 ・地域密着型の就業場所の確保（地域ネットワーク） ・空き家を活用して、少し出店してみたい、副業として出店したい人の誘致（ビジネスチャンスに） ・リモートワーク用のシェアハウスとして空き家を活用 ・商店街の再活性化（イベント）により、地域の寄りあい所をつくる ・個人経営店舗への支援が必要 ・小さな公園を拠点に ・貫井南町（⑨）のように、小さな店舗が集まり、小さな商店街をあちこちに形成 ・都営住宅の利活用 </div>

土地利用

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等	
商店街の再生など、にぎわいのあるまちづくりを進めるためには？	<p>■にぎわい創出のためのアイデア（イベント・PR方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街イベント、食や音楽、学生主体の取組み ・ヒガコフェスのものを各商店街で開催 ・個人経営店舗を守るためのPR ・市立公園にキッチンカーが出店できるようになった。今後は、さらに規制緩和し、テント出店できるようにする ・小規模店舗が出店しやすい仕組みづくり ・商店街や個人経営店舗を守る取組み。個人経営店舗をPRするイベントを公園やSOCOLAの広場を活用して開催 	<p>■大学と連携したにぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、遊び場、勉強場所として大学施設を有効活用 ・大学や学校の開放 ・東京農工大（⑩）と連携して、小金井の農業を主に市民にアピールする ・「キッズカーニバル（昨年まで学芸大（⑪）で開催）」の拡大 ・「科学の祭典（昨年まで学芸大（⑪）で開催）」の取組みを拡大 ・大学等の体育館を貸し出し、スポーツできる場の創出
	<p>■地域に密着したお店を大切に（親子で入れるお店、個性のあるお店、地域で活力UP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェーン店等の大型店舗ができて個人経営店舗が衰退しており、さみしい ・円滑な代替わり（地主） ・「小金井タウンショップ黄金や（閉店）」のような地場産業の育成に関わるお店が大事 ・大型店舗だけでなく特徴ある商店を大切にする ・個人経営店舗を増やして欲しい ・大人数で入れるパブが欲しい ・地域の人が声を上げて、市と連携した取組みを進め、地域活力を上げる ・エリアマネジメント（地元・民間）、イベント・にぎわい創出、統一感ある街並みの形成 ・市が協力してシルバーがイキイキと働けるお店が増えると良い 	<p>■誰もが利用しやすい商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の街灯整備、歩道整備、案内板整備等 ・キャッシュレス可能な店舗を増やす
		<p>■リサイクル事業所（個性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の中にリサイクル事業所のような場所をいくつもつくれたら良い（空き店舗活用） ・小金井市のリサイクル事業所（⑫）はすばらしい施設だった。地域拠点（交流の場）として再開してほしい
その他	<p>■広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域核の形成、小金井（自動車学校）、調布（運動・交流）、府中（音楽） 	<p>■みどり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑道ネットワーク、特に玉川上水系統のジョギングコース・マラソンコースのグリーンベルトをつくる ・沿道建物の緑化助成制度（屋上緑化、壁面緑化等）（事例：ドイツ）
	<p>■都市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の分け方 ・現状に合わせた都市計画の見直し（用途地域の見直し） ・東小金井駅周辺に公共施設がない 	<p>■都市農地の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の拡大 ・既存農地の利活用 ・相続対策や屋敷林の維持 ・都市農地の活用

土地利用

■歩いて楽しい駅周辺まちづくり

- ・駅から小金井公園 (①) までの通りの景観を良くする

■駅周辺の土地の有効利用

- ・駅北口の駅前ビル (旧西友) (②) の整備
- ・駅北口のドン・キホーテ (③) の入っている駅前ビル (土地) の整備

■駅周辺の交通動線の円滑化 (安全で利用しやすく)

- ・自転車をちょっととめて買物できるお店が増えるとうれしい。イトーヨーカドー (④) は駐輪場が遠い
- ・駅に向かう道と駅から出る道を一方通行可する等、駅北口広場 (⑤) への交通処理を円滑化
- ・駅南口 (⑥) において、一般車の送迎スペースが欲しい。今はバスやタクシーとバッティングしてしまう
- ・武蔵小金井駅周辺の再開発第1地区と第2地区間の道路 (⑦) が危ない。地区を分断している

■空き家等の活用による地域拠点の創出 (気軽に出店=ビジネスチャンス)

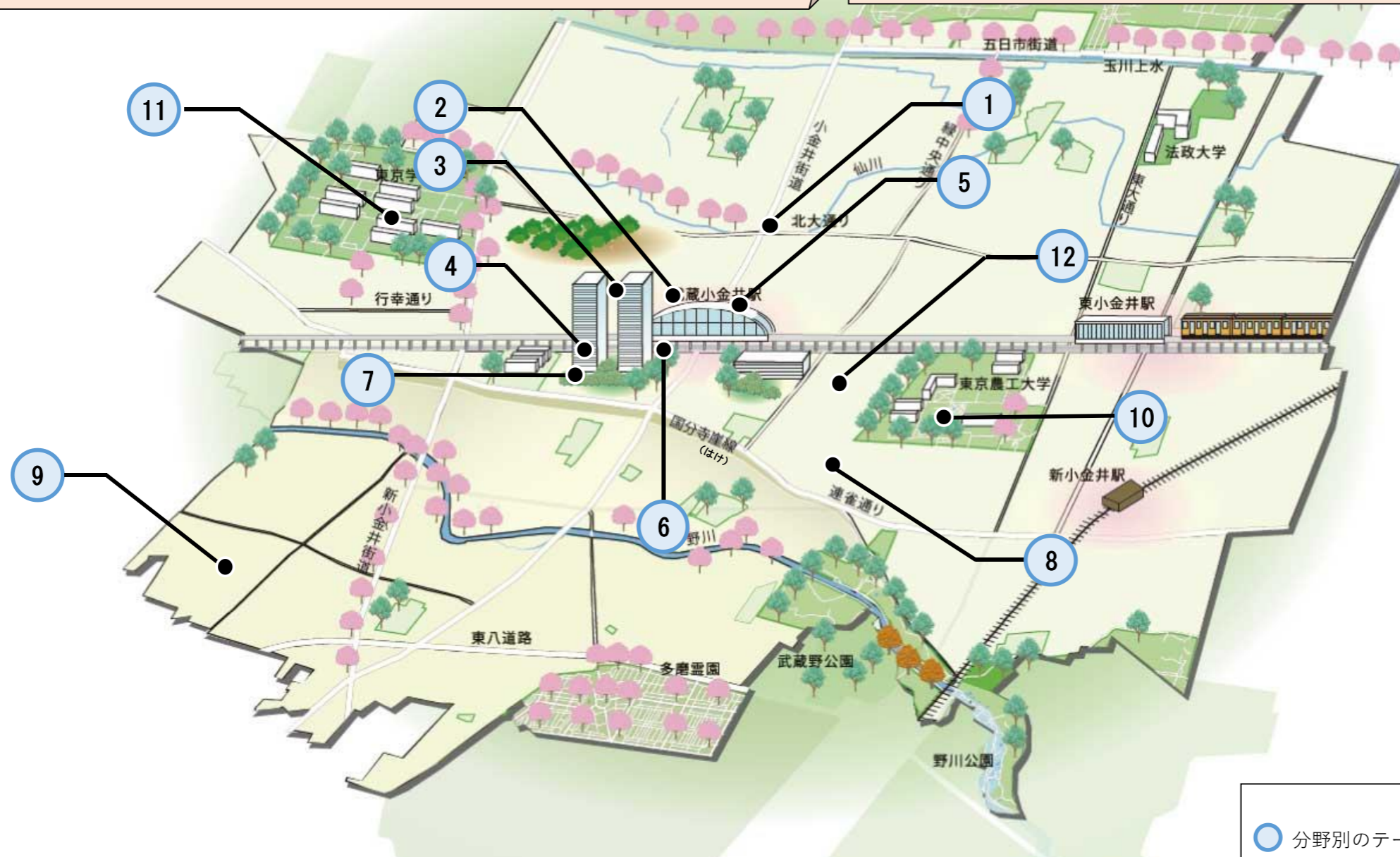
- ・「にしまぎごはん」というカフェ (⑧) では、空き家を活用した店舗で、子育て世代のお母さんや子ども達が集まる場所となっている
- ・貫井南町 (⑨) のように、小さな店舗が集まり、小さな商店街をあちこちに形成

■大学と連携したにぎわいの創出

- ・東京農工大 (⑩) と連携して、小金井の農業を主に市民にアピールする
- ・「キッズカーニバル (昨年まで学芸大 (⑪) で開催)」の拡大
- ・「科学の祭典 (昨年まで学芸大 (⑪) で開催)」の取組みを拡大

■リサイクル事業所 (個性)

- ・小金井市のリサイクル事業所 (⑫) はすばらしい施設だった。地域拠点 (交流の場) として再開してほしい



凡例

○ 分野別のテーマに対する意見箇所

道路・交通

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等	
<p>誰もが円滑に移動できる環境を整えるためには？</p>	<p>■交通結節機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が駅北口(①)のタクシー乗り場以外で手を上げていたが、止まらなかった。 駅北口(①)に、公営の駐輪場が欲しい(買い物しやすい環境整備)・中・長距離バス発着場の整備により、通勤・通学の多様化、来街者の増加を目指す 駐輪場の拡大・整備(有料可) 	<p>■CoCoバスの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 小金井の魅力向上させるため、CoCoバス等で駅と小金井公園・武蔵野公園等を結ぶ バス便数が減った コミュニティバスルートの市外への運行(味の素スタジアムまでのルート延伸等) CoCoバスルートの拡充 狭隘道路の改善によるCoCoバス導入(CoCoバスが入れない箇所を改良)
<p>歩行者や自転車や安全に通行できる道路環境とは？</p>	<p>■道路のバリアフリー(ユニバーサルデザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いすが通るには歩道が不十分、沿道店舗の物(看板等)が置かれる等マナーが悪い ユニバーサルデザインの街づくり 歩道整備、無電柱化、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、街路樹・植栽、防犯カメラ設置 段差の解消等のバリアフリー整備 	<p>■自転車専用レーン等の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 車と自転車のための安全な道路整備(自転車道整備) 車道と自転車の区分け(連雀通り(③)、北大通り(④)) 連雀通りは自転車・歩行者が錯綜し、怖い 自転車通行帯の整備、自転車が走りやすい環境整備 街路樹等の適切な管理(枝葉) 色分けや物理的な区分けによる安全の確保(歩行者、自転車等) 安全な自転車通行帯の整備、荷捌きスペース(駐車専用レーン)の確保
<p>市内や市外への移動を円滑にし、安全・安心のまちづくりを進めるためには？</p>	<p>■都市計画道路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災道路として道路幅を拡充する(特に歩道) (東西方向:五日市街道(②)、連雀通り(③)、北大通り(④)) (南北方向:新小金井街道(⑤)、小金井街道(⑥)、緑中央通り(⑦)、東大通り(⑧)) 防災道路のネットワークは必要なので、現道を活用する 大きな道路計画による景観や魅力の低下がないように配慮し、現道を活用した道路拡幅等も検討が必要 広い道はスピードを出して走る車が増えるので必ずしも良いとは言えない 現段階で防犯面での不便さはない 誰のものの道路なのか、地域住民のための安全な道であれば充分 自然を破壊するような都市計画道路は未だ必要なのか疑問 崖(はけ)と野川に重大なダメージを与えるため、都市計画道路3.4.1号線(⑨)3.4.11号線(⑩)は凍結中止 住民にとっては都市計画道路は不要 市内や市外への移動について特に不便とは思えない 3.4.11号線(⑩)は五日市街道の渋滞につながるため必ずしも便利になるとはいえないと思う 新しい道路よりも今ある道路の拡充することが大切 50年前の計画道路を、今いきなり作ろうとするのは便利になるより街の文化の破壊 都市計画道路の整備促進 五日市街道、北大通り、連雀通り、東八道路とリンクする南北道路拡充 3.4.11号線(⑩)は、多少は自然がとられても消防・防災面では必要ではないか 	<p>■生活道路の整備(地域に住む人のための道路づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さなコミュニティを大事したい 小さな道をゆっくり走れるようにしてほしい 歩いて暮らせる街へ。「生活弱者」が安心して外出できるようにしてほしい 車が入ってこない路地・緑、安心して遊べる 歩行者の安全安心の面、自転車利用者のマナー教育が必要ではないか 自転車利用者のマナーが悪い(自分中心の人が多すぎる) 新たな道路よりも現道の工夫が必要である 身近なコミュニティのための道路整備 "散歩道"緑とおもむき"路地" 緊急車両の進入は必要 セットバック、すみ切りで工夫して消防車両の走行の円滑化 砂利道が通りにくい 私道の整備
<p>その他</p>	<p>■交通ルールづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> どんなに良い道路をつくっても警察の協力が必要。どう運用するかが大事 交通事故を減らすのが一番大事 自転車は軽車両と理解させる。少なくとも保険をかける 交通マナーの徹底(特に自転車) <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 1969年のオリンピックでは甲州街道整備した。例えば玉川上水にマラソンコースを誘致すべきではないか 土地区画整理事業は東小金井周辺のみであり、東八道路周辺も実施すべきではないか 昔のような夢のある計画を描き、それを新しいまちづくり制度を使って実現して欲しい <p>・道路・交通はまちづくりを仕上げるもの</p> <p>・安全な道路、橋や崖等の長期危険箇所撤去促進と道路拡幅を進めるべき</p> <p>・財源確保が重要である</p>	

道路・交通

■交通結節機能の強化

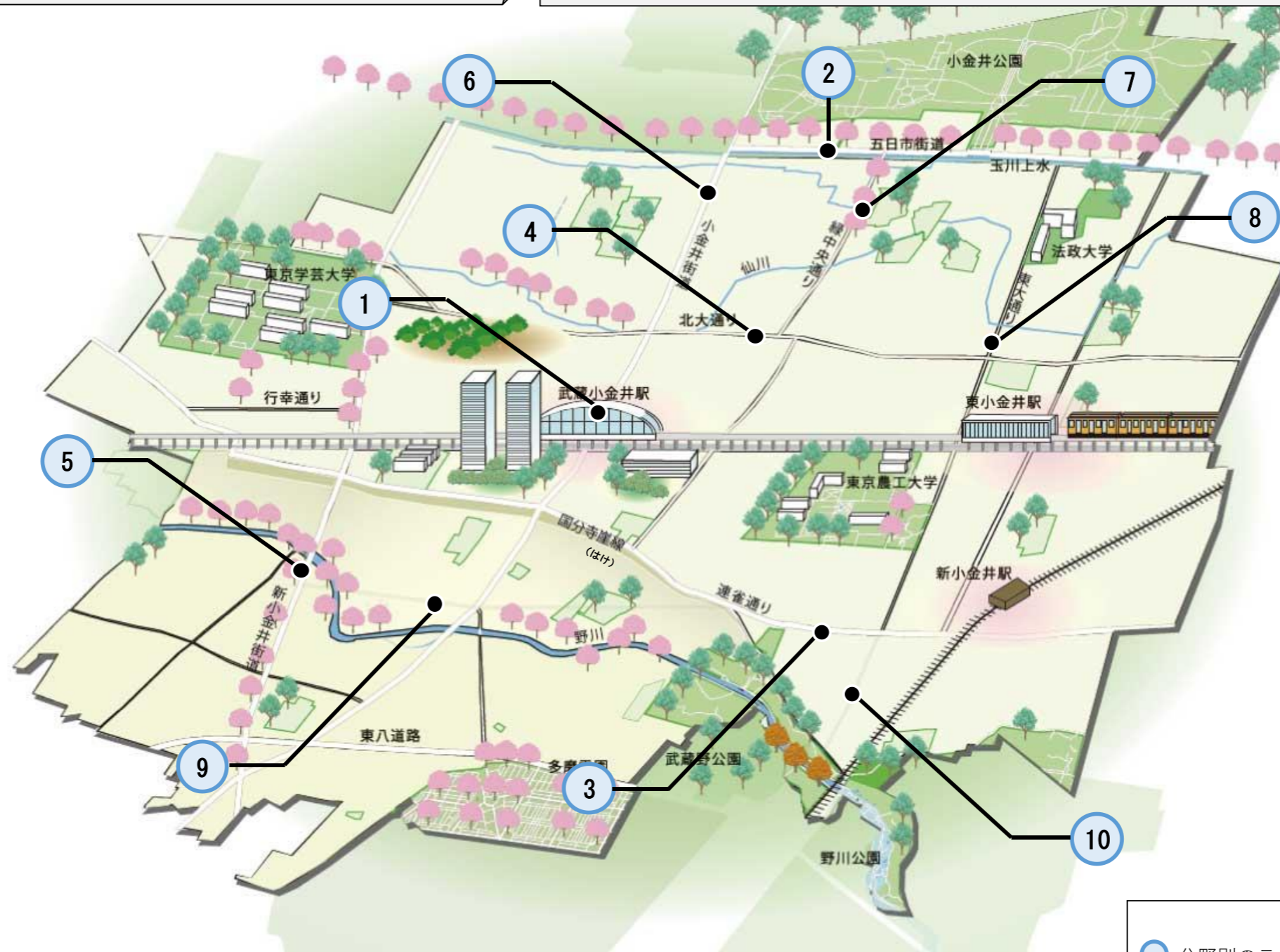
- ・高齢者が駅北口(①)のタクシー乗り場以外で手を上げていたが、止まらなかった。
- ・駅北口(①)に、公営の駐輪場が欲しい(買い物しやすい環境整備)

■自転車専用レーン等の設置

- ・車道と自転車の区分け(連雀通り(③)、北大通り(④))

■都市計画道路の整備について

- ・防災道路として道路幅を拡充する(特に歩道)
(東西方向:五日市街道(②)、連雀通り(③)、北大通り(④))
(南北方向:新小金井街道(⑤)、小金井街道(⑥)、緑中央通り(⑦)、東大通り(⑧))
- ・崖(はけ)と野川に重大なダメージを与えるため、都市計画道路3.4.1号線(⑨)3.4.11号線(⑩)は凍結中止
- ・3.4.11号線(⑩)は五日市街道の渋滞につながるので必ずしも便利になるとはいえないと思う
- ・3.4.11号線(⑩)は、多少は自然がとられても消防・防災面では必要ではないか



凡例
 ○ 分野別のテーマに対する意見箇所

水・緑・環境共生

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等	
大規模な自然（みどり）を保全・活用するためには？	<p>■生物多様性（玉川上水（①）、野川（②）等）の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 玉川上水の生物多様性を大事に 子どもたちの遊び場 野川で魚採り、地域とのつながり、ふるさとへの想い 玉川上水は、桜再生のために既存樹木を切りすぎている 玉川上水の緑の在り方についてもっと市民全体の意見を聞いて欲しい（桜だけではなく） 野川における調整池の保全・活用 野川で市の鳥である「カワセミ」を見なくなってしまったため、生物の維持・保全が必要 野川を遊び場に（今年は新型コロナウイルスのために非常ににぎわっていた） <p>■大規模公園の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 都立公園（小金井公園（③）、野川公園（④）、武蔵野公園（⑤）） 武蔵野公園（⑤）は、くじら山、わんぱく夏祭り、原っぱ祭り等の市民参加イベント等を開催 行政と連携した公園管理 	<p>■はげ（⑥）の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> “はげ”の保全と再生、保全基金の拡充（トラスト） 都市計画道路3.4.1号（⑦）、3.4.11号（⑧）の中止凍結 はげは、手つかずの木々が魅力 都道の建設 オーバーパス 自然を守ることを第一優先の防災道路の整備が大切 東京都環境局では、東京における自然の保護と回復に関する条例により、50箇所の保全地域を指定しており、国分寺崖線もその一つに指定されている。一方で、都の建設局は都市計画道路の整備により、はげの道を分断しようとしている。部局間でなぜ方向性が異なるのか疑問
身近なみどりを保全・活用するためには？	<p>■身近なみどりの維持管理（官民）・保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 街中のみどりは適正な管理必要 子供の遊び場（野川） ボランティアによる維持管理 維持・保全の担い手への支援 みどりの創出により緑被率を上げる シルバーセンター能力の拡大（植栽剪定） 既存みどりの保全、校庭の芝生化、大学のみどりの開放 みどりを保全するための資金確保として、みどり税、ふるさと納税、クラウドファンディング等が考えられる みどりを軸にした市のイメージを向上させ、市民を増やし、税収増 市保有公園等の活用 都市公園は市が責任をもって管理（浴恩館公園（⑨）、滄浪泉園（⑩）、梶野公園（⑪）、栗山公園（⑫）） <p>■民有のみどりを守る仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋敷林の保全・坂の保全（⑬） 個人宅の庭が雑草を防ぐためにコンクリートにされることが多いので、インターロッキングの助成等 個人宅の保存木への助成金を増やして守る努力を 地主の持っている樹木を借り上げることを考える 個人宅の屋敷林が小金井の良さのひとつ、大切にしてほしい 自然のみどりの保護、個人の大きい土地が相続で3000㎡近い買収されて宅地となるようなことを未然に察知して、市が自然保全に尽力してほしい 	<p>■パークマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園の事業化・民間運営・管理（そこで稼いでもらう） 環境学習への活用、夜の小金井公園（⑬） <p>■みどりの拠点化・みどりのネットワーク化形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模みどりと身近なみどりのコントラスト（コラボ） 市内の緑のネットワーク、緑の回廊 公園を拠点としたみどりの保全（大小に限らず） 市の大きな緑地付近の空地は優先的に市が買い取ることで、大きな緑地を維持 みどりと住環境の結び付け、やすらぎ、交流の場、子供の遊び場、保存樹林、屋敷林 連続性のある緑地は生き物が生きるために重要、道路の分断は良くない サイクリング、散歩を系統化できる「緑道」計画と面整備によりつくる
小金井らしい景観を維持・形成するためには？	<p>■景観をまもる仕組みづくり（官民）</p> <ul style="list-style-type: none"> 整った景観が作られる仕組み 景観が大事（手入れ、剪定）。市民の力、協力で維持 景観を守る、エリア毎の景観計画、ガイドライン、地区計画、文教地区 市民への意識を高める 	

水・緑・環境共生

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等		
環境共生のまちづくりを進めるためには？	<p>■地下水・湧水の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透枡、大事に ・浸透枡（水の循環サイクル） ・地下水保全のとりくみ ・湧水保全 ・透水舗装の整備 ・貫井神社の湧水地域の農家の方々が語り継ぐ歴史・風土史 ・地下水湧水保全条例 ・点を線にしていく（水系） ・地下水を守るために開発時に雨水浸透枡等の義務化を ・野川の瀬切れ対策、雨水枡 	<p>■環境共生のまちづくり（自然循環型、低炭素型まちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Rの取組み、特にリサイクル大切に ・リユースを大切にするためにリサイクル事業所の再開を ・リサイクル事業は、スマホやWEBを使った現代にあったリサイクル事業を（不用品交換・市民参加等） ・ペットボトル（プラ）等処理の工夫 ・ゼロエネルギーに向けて市独自の検討を進める ・脱炭素社会、公共施設は再生可能エネルギーへの転換 ・新庁舎は、太陽光パネル、学校、保育園 ・総合環境化の中で、ごみ処理、下水処理等に関して、隣接市との連携を進める ・SDGs自治体として、大規模建設に環境負荷の低い設備を ・市役所への再生エネルギーの設置 ・景観が大事（手入れ、剪定）、市民の力で街並み景観を良くする ・景観を守る、エリア毎の景観計画、ガイドライン、地区計画、文教地区 ・市民への意識を高める 	<p>■地球温暖化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド現象の解決策の検討が必要
その他	<p>■都市農地、生産緑地の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市農地の緑を守る ・生産緑地は、都市農家の高齢化、営農の難しさ、新しい住人との摩擦、2022問題がある ・農を活かしたまちづくり（学校給食と農、福祉との連携） ・農地や生産緑地の保全 ・"小金井の特色（土地）をアピール、緑の利用した事業を活性化（民間農園等）（土地を意識的に市等が取得して農園等に借用する）" ・市民農園の増加 	<p>■防災まちづくりとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整池の拡充（防災） ・公園と防災の紐づけ ・避難場所や備蓄倉庫設置場所としての公園の活用 <p>■Withコロナでのみどりの在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで大学に入れなくなってしまった。入れるようにしてほしい。（緑環境が充実） 	
	<p>■計画的な樹種選定と管理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新小金井街道の桜を見るにつけ、10年後20年後の木の成長を見越して大きな植樹をしてほしい ・ゴミ対策課との連携、落ち葉 		
	<p>■水・みどりを守る意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の良いまちをつくる俳句コンクールを行う（例：松山） ・学校教育と連携した環境保全意識の学習 		

水・緑・環境共生

■生物多様性（玉川上水（①）、野川（②）等）の保全
 ・玉川上水の生物多様性を大事に
 ・子どもたちの遊び場 野川で魚採り、地域とのつながり、ふるさとへの想い
 ・玉川上水は、桜再生のために既存樹木を切りすぎている
 ・玉川上水の緑の在り方についてもっと市民全体の意見を聞いて欲しい（桜だけではなく）
 ・野川における調整池の保全・活用
 ・野川で市の鳥である「カワセミ」を見なくなってしまったため、生物の維持・保全が必要
 ・野川を遊び場に（今年は新型コロナウイルスのために非常ににぎわっていた）

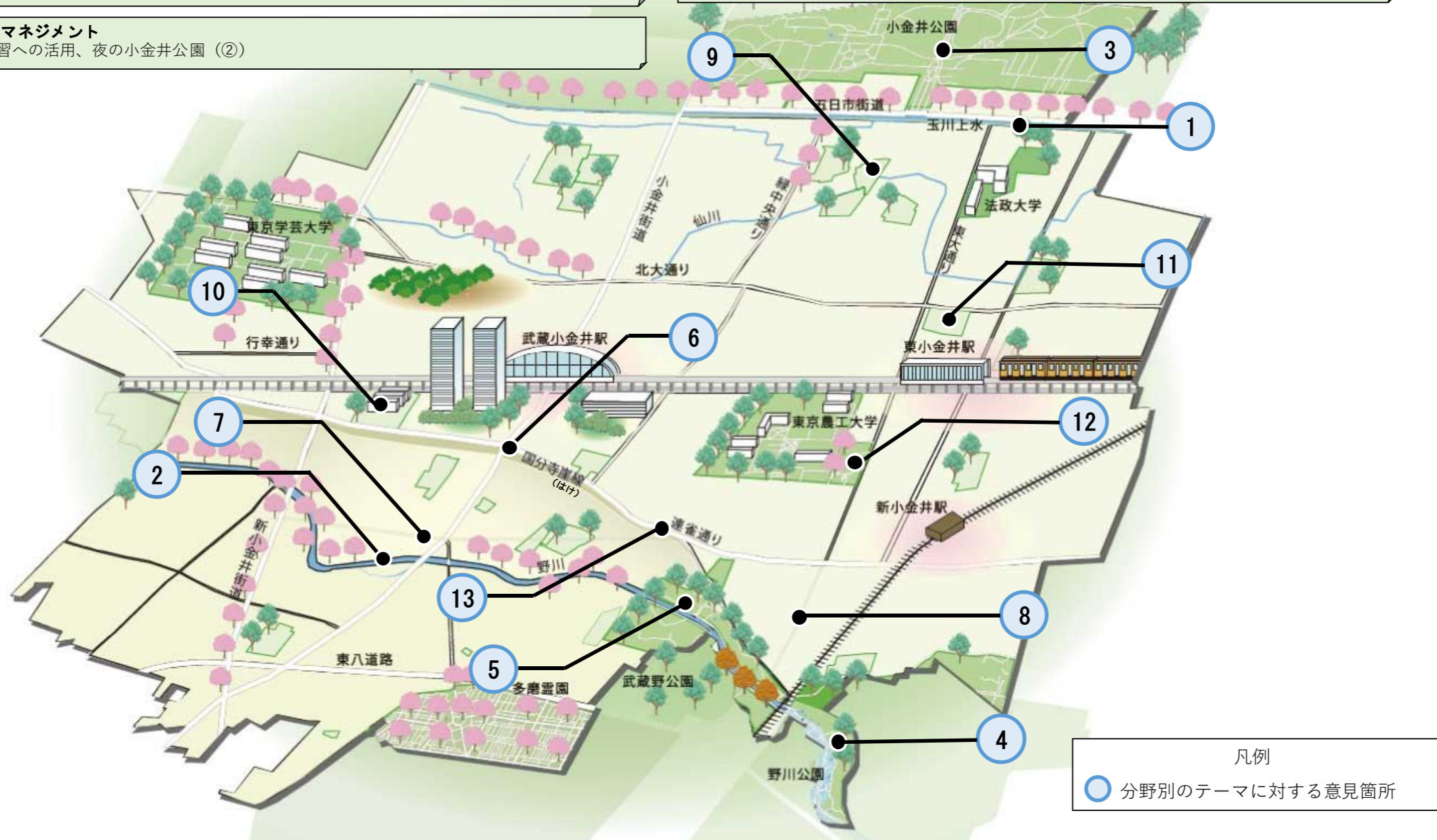
■大規模公園の保全・活用
 ・都立公園（小金井公園（③）、野川公園（④）、武蔵野公園（⑤））
 ・武蔵野公園（⑤）は、くじら山、わんぱく夏祭り、原っぱ祭り等の市民参加イベント等を開催

■パークマネジメント
 ・環境学習への活用、夜の小金井公園（②）

■はけ（⑥）の保全
 ・“はけ”の保全と再生、保全基金の拡充（トラスト）
 ・都市計画道路3.4.1号（⑦）、3.4.11号（⑧）の中止凍結
 ・はけは、手つかずの木々が魅力
 ・都道の建設 オーバーパス
 ・自然を守ることを第一優先の防災道路の整備が大切
 ・東京都環境局では、東京における自然の保護と回復に関する条例により、50箇所の保全地域を指定しており、国分寺崖線もその一つに指定されている。一方で、都の建設局は都市計画道路の整備により、はけの道を分断しようとしている。部局間でなぜ方向性が異なるのか疑問

■身近なみどりの維持管理（官民）・保全・活用
 ・都市公園は市が責任をもって管理（浴恩館公園（⑨）、滄浪泉園（⑩）、梶野公園（⑪）、栗山公園（⑫））

■民有のみどりを守るしくみ
 ・屋敷林の保全・坂の保全（⑬）



【安全・安心】分野に関する意見のまとめ

安全・安心

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等		
<p>地域の防災まちづくりを進めるために必要なことは？</p>	<p>■ 自助意識の向上 ・「自助」の啓蒙 ・災害時の自助行動に関わるセミナーや手法も検討 ・自助ができないと、共助も公助もできない</p> <p>■ 地域の防災まちづくり ・防災訓練の普及 ・災害の種別による防災訓練はできているか ・防災の取組みの共有が必要 ・担い手がいない ・地域と医療機関とのネットワーク ・町内会の機能の向上、都の補助金で安全な衛生用品を買って備える</p> <p>■ みどりを活かした防災まちづくり ・みどりの保全と防災まちづくりの連携（避難場所、貯水場所、備蓄場所等に関して） ・井戸・湧き水の保全 ・何かの時に湧水が大事になる ・給水場所の周知や公園への給水トイレ整備（事例：府中市）</p>	<p>■ 事前復興 ・火災事前対策（効果を見極めて）として、国や都が連携して事前復興計画を検討すべき。（ボランティア受入、被災予想、企業・大学連携等） ・事前復興を充実して公表すべき ・実際に災害に遭った時にどうしたらいいかシュミレーションできていない</p> <p>■ 円滑な防災・災害情報の発信 ・ハザードマップの周知 ・情報伝達システムの整備が必要（デジタル技術を活用したサイレンやスピーカー等） ・避難に差がでないような情報伝達、格差是正</p> <p>■ 災害対策の検討 ・火災・地震等の「複合災害」への対応策を講ずべき。そのため、国や都を含む協議会等において、費用対効果等を含めて、意見を聞くべき ・災害ゴミの処理方法が問題 ・駅周辺の帰宅困難者対策</p> <p>■ 災害に強い基盤整備 ・道路（特に斜面）の計画的な管理を ・水害対策の見直し、水路多い ・府中市では各町内に体育館と公園が必ずあり、公園には水飲み場・トイレが必ずついています。モデルになり得ます。 ・廃墟で隠れている水路が多い ・防災行政無線の整備を ・大きな道路でコミュニティを分断しない ・道路新設で地域コミュニティをこわさないことが大切。立ち退きさせられる人のことを考えてほしい ・公園等のオープンスペースの確保により延焼を防ぐ</p> <p>■ コロナ禍に対応した防災 ・コロナ禍において、町内の診療所等は経営難を訴えている。医療体制の充実が必要 ・コロナ禍での避難所体制の検討・構築</p>	<p>■ 建物の耐震化、空き家対策 ・旧耐震建物の改修・建替促進 ・木造住宅密集地域における道路拡幅、公園整備等 ・空き家対策のための補助金、相談体制の構築 ・公園等のオープンスペースの確保により延焼を防ぐ ・空き家所有者と事業者とのマッチングが必要 ・廃墟となっている都営住宅①の解体</p> <p>■ 避難場所の確保 ・公民館等の公共施設をもっと活かす ・避難所のプライベート空間確保、間仕切り導入 ・AEDの設置（屋外） ・福祉避難所の認知、行ったら迷惑がかかると思われないようにしていく必要がある ・避難場所を事前に把握しておくことが重要</p> <p>■ 避難経路の確保 ・ブロック塀の安全化</p>
<p>共通</p>	<p>■ マスタープランへの反映・情報共有 ・都市計画マスタープランの公表、市報等中間報告</p> <p>■ 地域の取組みを推進 ・地域にネットワークをつくる ・カンガルーポケットの普及 ・自主防災組織を有効に</p> <p>■ 歩いて暮らせるまちづくり ・歩いて避難できる環境 ・「歩いて暮らせるまちづくり」の視点が大事 ・歩行者優先ゾーンの整備（車は進入禁止）</p>	<p>■ 女性の視点で考える ・女性の視点が少ない、市民の約半分は女性</p> <p>■ 高齢者の方の見守り ・年配の方に声がけ、熱中症の方や病気の方等 ・高齢者世帯の居住実態の把握・支援 ・要介護者の把握（80歳以上の方）</p>	<p>■ 公共機関との連携 ・警察・消防署との連携 ・消防団の組織 ・前原町にある独身寮の警察官は、まつり等に参加してくれている ・地域の諸団体や市民の連携（学校、保育園、学童、消防団、町内会、地域包括ケアセンター、公民館、民生委員等） ・自治会、町内会との連携</p>
<p>地域の防犯まちづくりを進めるために必要なことは？</p>	<p>■ 地域コミュニティの強化による防犯に強いまち ・町内会組織の再生（高齢化で機能不全） ・地域コミュニティの形成、顔の見える関係づくり ・日頃からの近所付き合い、地域のネットワークづくり ・引っ越してきた人、子育て中の若い人、これから永く住んでくれる人が地域コミュニティに入りやすい環境づくり ・顔の見える地域づくり ・「サギ電話」対策について、市・町内会に有効な役割を期待 ・男性が隣近所に無関心、隣近所に関心を持つことが大事 ・めんどうがらずに声掛けをする ・地域コミュニティづくり、ネイバーズデイ、おとなりサンデー（渋谷区）</p>	<p>■ 子供たちの見守り活動 ・子供達の見守り活動（通学路、放課後等） ・信頼される学校づくり ・学校をハブにした不審者情報の積極的な共有</p> <p>■ 空き家・空き地対策 ・空き家、空き地の対策・解消（防犯）</p> <p>■ 防犯システムの強化 ・防犯システムの整備（スマートシティ、防犯カメラ連動） ・道路上への防犯カメラの設置 ・本当に効果的な防犯対策 ・犯罪の抑止 ・防犯カメラを増やして犯罪が減るのか疑問</p>	

安全・安心

■ 建物の耐震化、空き家対策
・ 廃墟となっている都営住宅 (①) の解体



凡例

○ 分野別のテーマに対する意見箇所

生活環境 1

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等		
地域コミュニティの維持・創出や交流の場をつくるためには？	■地域拠点となり得る施設の整備 ・多機能型の市民センターの設置（老若男女） ・図書館等、小さい施設でなく大きい複合施設 ・若者も集まる集会施設 ・市街地再開発による公開空地等を活用したラジオ体操、ヨガ、大学公開講座の開催	■既存施設（＝小金井らしさ）の有効活用 ・図書館の充実 ・今あるものを上手く活用 ・新しい施設をつくるのは難しい ・大学の活用、セミナーの実施 ・中央大学附属中学校・高等学校（①）を能の場として活用している ・商店会のイベント開催のため、学校等の校庭を開放する ・大学施設の利活用（食堂、図書館、グラウンド、体育館）（東京学芸大学（②）、東京農工大学（③）、法政大学（④）等） ・駅前の交流センターがいろいろと使いにくい ・大学と連携したスポーツ教室、自由研究 ・文教都市を活かし、勉強場所、遊びの場、スポーツする場を確保 ・小金井市町内会のPRをしてほしい	■気軽に集える場づくり ・神社やお寺の協力もあると良い ・商店街を拠点とした交流の向上 ・屋内でお金がかからずのんびりできる場所がふえると良いと思う ・地域商店街の活性化、再生 ・子ども食堂等による世代間交流の場づくり ・世代間交流の場をつくるためには、遊べる場所をつくる ・集える場、地域包括ケアセンター、空き家活用 ・集会施設を公民館と同様に借りやすくする ・スポーツできる場所の提供（ジョギング、サイクリングコース、バスケットボール（3on3））
	■空き家活用と地域拠点の創出 ・空き家活用したカフェ、シェアオフィス、リモートワーク等の創出 ・空き家をコミュニティの場へ。事業者と空き家所有者とをマッチングする仕組みづくり ・民家を使ったカフェ、寄りあい場所	■町内会の充実 ・町内会再生のため、IT環境強化、若い人も参加しやすい町内会 ・機能していない町内会へのサポートが必要 ・メールでの情報交換 掲示板（市で仕掛けづくり） ・町内の交流の活発化、防災倉庫の充実、災害や子どもの集まりの場の創出	■子供会育成連合会への支援と連携 ・自治会、子供会等のコミュニティを支える組織のスタッフが減り続けている ・子供会を教育委員会の組織として予算をしっかりとつける ・学校の授業と子供会の体験活動で連携し、子供会以外の子も授業を通じて興味を持つ ・祭りや行事に参加することで地域の人や歴史を知る
	■地域単位のまちづくり ・歩いて暮らせるまちづくりの実現に向け、地域（中学校区）ごとのプランニングが必要	■拠点施設・機能の広域連携 ・隣接市と連携した協力体制の構築（例：図書館）	
	■リサイクル事業所の設置 ・リサイクル事業所はやっぱほしい ・リサイクル事業所を市の東西南北に作りシルバーが運営して市民交流スペースを併設する（公民館＆リサイクルが併設でも良い）		
貴重な空間である都市農地をどのように維持・活用していくか？	■教育活動の場としての活用 ・農地解放（例：園児のイモ掘り体験） ・地元の農家では小学生のイモ掘りに協力している。市内の小学校等の授業として、農業にふれあう機会をもっと増やして欲しい	■都市農地の環境対策 ・農地周辺環境対策（土ほこり等）に掛かる費用の支援制度創設、国や都と連携した取り組みの推進	■都市農地（土地）を守る仕組みづくり・農業を営む人づくり ・相続で手放す土地を市民農園に転用しやすくする ・新しい道路を整備するために失われる農地があるので止めてほしい（⑤） ・都市農地を保全するため、市が農家と契約して農園を開き、維持管理を永くできるようにする ・農地の保全 都市が個人農家の自然を管理しているのを拡大していく ・JA等と連携して、後継者育成の仕組みをつくる ・都市農地のビジネス化、運営企業の育成・支援、販路整備 ・農地所有者への支援、後継者問題等の相続相談の支援 ・生産緑地の維持・管理に関して、農業委員会が生産緑地の維持管理に向けた組織づくりを進める。選定、営農を充実させる事で近隣トラブルや魅力のアップにもつながる ・農業知識の提供、栽培講座、マイスター紹介・育成
	■高齢者の活動の場としての活用 ・老人用農園を公園以上につくるべき（事例：ドイツ・フランクフルト） ・シルバー人材センターとの連携を図り、農地貸出、運営委託等を検討してはどうか	■農産物による地域活性化 ・地産地消（給食、スーパーマーケット）作物を通じた世代間交流	
	■農業と観光の連携 ・JA観光協会商工会の連携ができていない。小金井の名物をPRしてほしい		
その他	■農地以外の緑も大切に ・農地以外の緑も考えよう ・屋敷林や原っぱの維持 ・駅前のロータリーの広場を花壇化して、維持管理のための組織を募集するのはどうか	■環境対策 ・省エネ、脱炭素へ。エネルギーの地産地消 ・3Rの推進	■その他 ・健康指導の協力をぜひ ・コンサルタントからの提案がほしい（行政への） ・一人になりたい人の気持ちも尊重して ・道路新設で町を分断しないでほしい
	■地域コミュニティに関する課題として ・所得をあげる働く場所づくりを考えたい ・例えば高架下利活用に夜間学習、図書館、趣味起こしを図る ・園庭のない保育園が多い	■区画整理手法の活用 ・公園、緑道を整備できる「面整備事業」を担う組合とつくる ・そのための助成金（保留地処分金）制度をつくるべきである	

生活環境 1

■既存施設(=小金井らしさ)の有効活用
 ・中央大学附属中学校・高等学校(①)を能の場として活用している
 ・大学施設の利活用(食堂、図書館、グラウンド、体育館)(東京学芸大学(②)、東京農工大学(③)、法政大学(④)等)

■都市農地(土地)を守る仕組みづくり・農業を営む人づくり
 ・新しい道路を整備するために失われる農地があるので止めてほしい(⑤)



凡例
 ○ 分野別のテーマに対する意見箇所

生活環境2

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデア等		
暮らしたい・暮らし続けたいと思えるまちに必要なことは？	<p>■暮らしの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のQOLを高める、安全・安心、みどりの分野から ・裏通りをゆったりと歩ける街（スペース面及び時間的にも） ・街中みどりの景観整備 <p>■働きやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職住近接した環境づくりとして、駅周辺では、オフィス誘致、サテライトオフィス誘致、シェアオフィス誘致、Wi-Fi整備（DX対応）等が考えられる ・市内全域にWi-Fi環境を整備したい 	<p>■スマートシティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ化。幅広い層に対応、操作しやすい、便利、安心 ・スマートシティ化の取り組み <p>■きれいでマナーの良いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街中の美化（ポイ捨て、路上喫煙、禁止） <p>■まちの魅力を向上させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を受け入れる ・「道の駅」のような施設を地区単位に設ける。広域的な拠点としても運用する（例：八王子市、世田谷区、群馬県） 	<p>■現状を維持することが大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状維持、継続と少しの発展、住環境、子育て環境 <p>■小金井の良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心へのアクセスが便利 ・地域ごとの魅力づくり ・街と田舎の共存共生 ・心穏やかに過ごせる ・都市計画道路で立ち退きを迫ったり、地域コミュニティを壊さないで <p>■小金井らしさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スローライフ、ゆるやかなんびりゆっくり ・ゆっくり過ごせるように ・のんびり暮らせること ・人や建物が集中しすぎない
若年・子育て世代・高齢者や障がいのある人が住み続けられるようにするためには？	<p>■学習・施設の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校等の空き教室を活用して高齢者が集う場を創出 ・教育施設を活用した生涯学習等 ・地域の拠点としての学校の活用 <p>■高齢者・福祉施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームの増設 ・障がい、高齢者施設の小規模化 地域とのつながり ・老人ホームの中に地域に開かれた場所が欲しい（カフェ、食堂、集会室等） ・現在整備を進めている保育施設を将来的に老人ホーム等の高齢者施設にリノベーションする等、需要に応じた柔軟な施設整備が必要 ・老人ホーム待ちしてる ・高齢者施設だけでなく、保育施設を併設する等、複合的な機能を持った施設が必要（例：NPO法人地域の寄り合い所また明日①） ・高齢者・福祉施設のサービス向上（例：府中市、国分寺市） ・現在、老後は住みにくい、老人施設が良くない ・施設の数が多いが、施設スタッフの関心が低い 	<p>■行政のサポート・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談等の困りごとに対する相談体制の強化 ・地域文庫をやっているが特に市からの助成がない。ボランティアで頑張っている人々をもっとサポートしてほしい ・ひとり親家庭や困っている人のサービスの拡充により、更に住みやすいまちへ ・家族間トラブル等で家にいられない人がかけこめる場づくり（女性等） ・暮らしをよくする方式として「面整備」が「組合」によってなされるよう、助成すべき <p>■交流が大切、あたたかみコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで子供との交流が増えた ・高齢者と若者世代の3世代と一緒に庭でバーベキューをした。お互いに助け合うことが大事 ・自治会、町内会の参加を増やしたい（会費を払わないのに真っ先に来る人） ・交流しやすい町、生まれ育った町だから友人も多い ・小学校の頃、近所の方が小学校の近くで子供達に「おはよう」、「さよなら」と声掛けをしてくれた。住民の日常的な声掛けから始まるまちづくり（多世代交流、地域コミュニティ形成、防犯・見守り活動等） ・高齢化への対応、地域で住み続けられるまち <p>■バリアフリーなまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの実現に向け、新築建物のバリアフリーの義務化、改修時の補助金、IOTの活用等 ・IOT技術を活用した外国語対応の案内等 ・肉体的なハンディキャップがある方が自然に集える公園の整備 ・心のバリアフリーの推進 ・障がい者対策の実態を明らかにした上で、バリアフリーな施設をつくるべき ・ユニバーサルデザインのまちづくり（ハード・ソフト両面） ・学校等の教育施設の段差解消（バリアフリー化） 	
その他（新しい生活様式）	<p>■リモートワークの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議セミナーの効率利用、環境整備 ・12月空き家対策相談会をやる（市と一緒に） ・審議会やワークショップ等もITをうまく活用し、広く市民に情報発信 ・デジタルも必要だがアナログも重要 ・市民参加の機会もリモート環境推進 ・公共施設でWi-Fiが使えない 	<p>■行政へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が自ら考える、アウトソーシングしない ・市役所サービスの向上、アクセスの向上 ・市の財政の健全化（市税の低減） ・市長は「対話」を大切にと言っているが、市長も行政も本当の意味で市民と対話すればもっと良い街になると思う ・インターネット環境を（市HP）高齢者向けに工夫 ・行政職員の自主性、自発性の向上が必要 ・市民協議会ので出た意見の都市計画マスタープランへの反映方法を知りたい ・都市計画税の増税 	<p>■市民でつくるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政任せではまちづくりはできない。市民（私たち）のかかわりが大事 <p>■安全安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路の拡幅／解消 <p>■土地利用・交通環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CoCoバスルートの拡充 ・駅周辺の駐輪場整備

生活環境②

■高齢者・福祉施設の充実
・高齢者施設だけでなく、保育施設を併設する等、複合的な機能を持った施設が必要（例：NPO法人地域の寄り合い所また明日（①））

